

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 5枚のうち 1枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般
試験科目	認知科学		

問題1 次のページから始まる英文を読んで設問に答えなさい。点線の引いてある語句については英文の最後に注釈があるので確認すること。

- (1) 記憶の reconstruction とは何か、本文の内容をもとに説明しなさい。
- (2) 下線部①を日本語に訳しなさい。
- (3) 下線部②を要約しなさい。
- (4) Figure 9.14 の部分の文章とグラフについて以下の問いに答えなさい。
  - 4-1. ここに書かれている Loftus & Palmer (1974) の実験は、何を明らかにするためになされたものか説明しなさい。
  - 4-2. 実験の手順を説明しなさい。
  - 4-3. Smashed と Hit グループの結果がどうなったかについて、グラフにある数値を用いて説明しなさい。
- (5) 下線部③について、どのような具体例があるか。本文の内容を訳すのではなく、自身で例を見つけて記述しなさい。

引用元

Cacioppo, J. T., & Freberg, L. (2015). *Discovering psychology: The science of mind* (2<sup>nd</sup> ed.). Cengage Learning. pp. 339, 2 行目-341, 11 行目.

( 5枚のうち 2枚目)

( 5枚のうち 3枚目)

注釈

<sup>1</sup>courtroom settings 裁判など、誰かが自分の記憶したことを証言する状況のこと

<sup>2</sup>verbatim 誰かの言ったことや書かれていたことについて、一字一句違わないそのもののこと

<sup>3</sup>gist 誰かの言ったことや書かれていたことについて、その要約や骨子のこと

<sup>4</sup>the periodic table 周期表(元素を原子番号の順に並べた表のこと)

<sup>5</sup>hit 接触した

<sup>6</sup>smashed 衝突した

( 5枚のうち 4枚目)

問題2. 次の3つの実験手法には改善することが望ましい点がある。次の(1)から(3)それぞれの実験について、どのように改善すべきかと、その理由を答えなさい。

- (1) 音楽を聴きながら単語を覚えることは効果的かどうかについて調べる実験をした。60 人の実験参加者を集め、それぞれの参加者にロックを聴きながら英単語を覚える条件と、ジャズを聴きながら覚える条件を経験させ、覚えていた単語数を二つの条件で比較した。
- (2) 痛みの感じ方には個人差があるが、親しい人が側にいると痛みを感じにくくなる、または痛みにより耐えられるようになるということが言われている。このことが本当かどうかを調べる実験をした。痛みの知覚は氷水に手をつけたままでいられる秒数で測定した。100 人の実験参加者を集め、そのうち50人は痛みを耐えている間に隣に立っている自分の親しい人と話をするのが許された(友人条件)。後の50人は一人で痛みを耐えた(一人条件)。後に友人条件と一人条件の結果を比較した。
- (3) ある実験をする際に、必要な参加者の数を過去の似たような実験を参考にして50名に決めた。しかし、実際に実験をしてみると参加者がなかなか集まらなかった。25名の時点では結果が統計的に有意にならなかったため、実験を続け28名に達した時点でまた分析したが有意ではなかった。さらに実験を続けて合計30名になったところで分析をすると有意な結果となっていたため、そこで実験完了とした。

問題3. 以下から2つ選んで答えなさい。

- (1) 統合失調症の概要を、発症率、症状、要因などを含めてまとめなさい。
- (2) 古典的条件づけが獲得された後に消去を行うことで条件反応が生じなくなっても、条件刺激と無条件刺激の間の結びつき(連合)が消失するわけではないと考えられている。消去手続きによってCSとUSの連合が消失するのではないと考えられる理由について、根拠となる現象を1つ以上あげて説明しなさい。
- (3) ヒトの脳新皮質を4つの部位に分け、それらがどのような認知機能をもっているかを説明しなさい。

( 5枚のうち 5枚目)

問題4. 以下の用語から7つ選んで簡潔に説明しなさい。

- (1)概日リズム
- (2)知覚のトップダウン処理
- (3)オペラント条件づけにおける「負の罰」
- (4)シナプス
- (5)質問紙やテストを使った心理測定における妥当性
- (6)図と地(図地反転)
- (7)社会的参照
- (8)偏差値
- (9)学習の転移
- (10)学習性無力感
- (11)刺激閾・絶対閾
- (12)カテゴリーのプロトタイプ理論

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科 (博士前期課程)

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般

科目名 認知科学

解答例又は出題意図

問題1 次のページから始まる英文を読んで設問に答えなさい。点線の引いてある語句については英文の最後に注釈があるので確認すること。

- (1) 記憶の reconstruction とは何か、本文の内容をもとに説明しなさい。  
記憶は起こったことがそのまま保存されているのではなく、思い出すたびに新たな情報などを考慮して作り変えられていくという内容が書かれていれば正解とする。
- (2) 下線部①を日本語に訳しなさい。  
参加者が複雑なストーリーを何度か繰り返し語るように指示されると、彼らはストーリーを単純化したり、特定の部分を強調したり、自分の世界観に合ったように内容を調節したりといったことをする傾向がみられた。
- (3) 下線部②を要約しなさい。  
以下の3要素が含まれているべきである。
  1. 記憶には様々なタイプがあり、見聞きしたものをそっくりそのまま保持する形態から、骨子だけを抜き出したような形態もある。
  2. 記憶したものをどのくらいの正確さで思い出さなければいけないかによって形態を変えている。
  3. 思い出す際のニーズに合わせて形態を変えることによって記憶の資源を有効に使っている。
- (4) Figure 9.14 の部分の文章とグラフについて以下の問いに答えなさい。
  - 4-1. ここに書かれている Loftus & Palmer (1974) の実験は、何を明らかにするためになされたものか説明しなさい。  
事故について参加者に聞く時に使う質問文の語の種類を変えると、参加者の事故の記憶がその語に影響されて再構築されるかどうかを明らかにする。
  - 4-2. 実験の手順を説明しなさい。  
参加者は車が衝突事故を起こすビデオを観た。次に参加者は、ビデオの中の車がどのくらいのスピードを出していたかを答えるように言われた。その時に、一方の参加者グループは「車が接触したときにどのくらいのスピードだったか」と聞かれた。もう一方のグループは「接触したとき」ではなく「衝突したとき」という文言を使った質問を受けた。一週間後に参加者はビデオの中にガラスの破片が映っていたかを聞かれた。
  - 4-3. Smashed と Hit グループの結果がどうなったかについて、グラフにある数値を用いて説明しなさい。  
ビデオの中にガラスの破片が映っていたかどうかについて、「衝突」という言葉を聞いたグループは「はい」と答えた人がおよそ 30%、「いいえ」と答えた人が 70%であった。「接触」

という言葉聞いたグループは「はい」が約15%、「いいえ」が85%であった。「衝突」グループの方が「接触」グループよりも高い確率でガラスの破片が映っていたのを覚えているという結果になった。ちなみに正しい回答は「いいえ」であった。

(5) 下線部③について、どのような具体例があるか。本文の内容を訳すのではなく、自身で例を見つけて記述しなさい。

「テレビで見た景色を実際に見た景色だと記憶していた」「本で読んだ内容を、誰かに聞いたことだと記憶していた」など、記憶の情報源を誤っている例であれば正解とする。

#### 引用元

Cacioppo, J. T., & Freberg, L. (2015). *Discovering psychology: The science of mind* (2<sup>nd</sup> ed.). Cengage Learning. pp. 339, 2 行目-341, 11 行目.

問題2. 次の 3 つの実験手法には改善することが望ましい点がある。どのように改善すべきかと、その理由を答えなさい。

(1) 音楽を聴きながら単語を覚えることは効果的かどうかについて調べる実験をした。60 人の実験参加者を集め、それぞれの参加者にロックを聴きながら英単語を覚える条件と、ジャズを聴きながら覚える条件を経験させ、覚えていた単語数を二つの条件で比較した。

音楽を聴きながら単語を覚えることが、聴かないで覚えるよりも効果的かどうかを示さなくてはいけないので、音楽を聴かない統制群を作るべきである。

(2) 痛みの感じ方には個人差があるが、親しい人が側にいると痛みを感じにくくなる、または痛みにより耐えられるようになるということが言われている。このことが本当かどうかを調べる実験をした。痛みの知覚は氷水に手をつけたままでいられる秒数で測定した。100 人の実験参加者を集め、そのうち 50 人は痛みに耐えている間に隣に立っている自分の親しい人と話することが許された(友人条件)。後の 50 人は一人で痛みに耐えた(一人条件)。後に友人条件と一人条件の結果を比較した。

痛みの感じ方が個人で違うので、親しい人がいるかどうかだけが痛みの知覚の違いを生み出すかを調べるためには、同じ人が友人条件と一人条件の両方を経験しなくてはならない。

(3) ある実験をする際に、必要な参加者の数を過去の似たような実験を参考にして 50 名に決めた。しかし、実際に実験をしてみると参加者がなかなか集まらなかった。25 名の時点では結果が統計的に有意にならなかったため、実験を続け、28 名に達した時点でまた分析したが有意ではなかった。さらに実験を続けて合計 30 名になったところで分析をすると有意な結果となっていたため、そこで実験完了とした。

サンプル数が少なすぎるにも関わらず統計的に有意な結果が出た場合、実際は真である帰無仮説を誤って棄却してしまっている可能性がある。そのため、参加者を増やしながらか有意な結果が出たところで恣意的に実験を終了するのではなく、必要な参加者数をきちんと集めてから分析をしなければならない。

問題3. 以下から2つ選んで答えなさい。

- (1) 統合失調症の概要を、発症率、症状、要因などを含めてまとめなさい。

120人に1人が患うとされている精神疾患で、青年期に発症する人が多い。症状は本来あるはずのないものが現れる陽性症状と、通常ある能力が低下する陰性症状、および認知機能障害の三つに分けられる。陽性症状には幻覚、妄想、自我障害があり、陰性症状には感情の平板化、自発性減退、社会的引きこもりなどがある。認知機能障害は言語記憶、実行機能、注意機能などが低下することを指す。統合失調症は脳の神経ホルモンのバランスが乱れることによって生じるとされており、遺伝的要因の影響が大きい事が分かっている。

- (2) 古典的条件づけが獲得された後に消去を行うことで条件反応が生じなくなっても、条件刺激と無条件刺激の間の結びつき(連合)が消失するわけではないと考えられている。消去手続きによってCSとUSの連合が消失するのではないと考えられる理由について、根拠となる現象を1つ以上あげて説明しなさい。

消去によって条件反応が完全に消失しても、何も実施しない期間を経て再び条件刺激を提示すると条件反応が生じる。この現象を自発的回復という。さらに消去を繰り返すことで自発的回復が生じなくなっても、再び条件づけを行うと速やかに形成される。これらの現象は、消去は条件刺激と無条件刺激の間の連合を消失させるというよりも、条件刺激に対する無条件刺激の不在により、条件反応を抑制するような別の学習が生じていることを示していると考えられる。(例としては、消去中の別の刺激の提示で条件反応が一時的に回復する脱抑制 *disinhibition*、消去を行った文脈からの文脈の変更で条件反応が回復する復元効果 *renewal*、消去後の無条件刺激の単独提示により条件刺激に対する条件反応が回復する復帰効果 *reinstatement* でもよい)

- (3) ヒトの大脳新皮質を4つの部位に分け、それらがどのような認知機能をもっているかを説明しなさい。

大脳新皮質は前頭葉、側頭葉、頭頂葉、後頭葉の4領域に大きく分けることができる。前頭葉は運動や行動の計画、予測、いわゆる思考に関する機能を持ち、身体行為の実行や制御に関わる。側頭葉は対象認識や対象の知識の座であり、頭頂葉は空間処理や感覚知覚情報の統合的処理を担っている。そして後頭葉はそのほぼ全域が視覚情報処理に関わる機能を持っている。(思考や運動、言語、視覚機能について、より詳細に記述しても良い)

問題4. 以下の用語から7つ選んで簡潔に説明しなさい。

- (1) 概日リズム

約1日(24時間)の周期で変動する生体活動現象のこと。睡眠や(深部)体温変動などがその例として知られている。

- (2) 知覚のトップダウン処理

感覚器官で受容した情報を、既に持っている知識や経験、スキーマなどに基づいて処理する方法のこと。

- (3) オペラント条件づけにおける「負の罰」

正の罰が反応に対して嫌悪刺激(負の強化子)を提示することにより反応の生起頻度を低下させる手続きであるのに対して、負の罰では、反応に対して「生起している」あるいは「生起するはずであった」快刺激(正の強化子)を省略することにより、反応の生起頻度を低下させる手続きである。負の罰(省略訓練)では標的となる反応以外の別の反応が強化されることから他行動分化強化手続きとも呼ばれる。



(4) シナプス

神経細胞同士が信号伝達のために伝達物質を授受する接合部位のこと。

(5) 質問紙やテストを使った心理測定における妥当性

質問文やテストの課題が、研究者の測定したい心理的対象をきちんと反映しているかどうかの程度のこと。

(6) 図と地(図地反転)

一般に、知覚世界における注目対象を図、その背景を地と呼ぶ。その背景にあった対象に注目すると、それまでの地が図となり入れ替わる。この交替現象を図地反転と呼んでいる。

(7) 社会的参照

行動選択場面において自分だけではどうしたらよいかわからない時に、周りにいる人の表情や態度を参考にして決定すること。特に幼児が他者の感情や意図を理解できていることを示す現象としてよく扱われる用語である。

(8) 偏差値

平均値や標準偏差の大きさに左右されずに、正規分布内の相対的位置を示すための統計的指標。ある得点 $X$ の偏差値は、 $X$ と平均値の差を標準偏差で除した標準得点 $z$ について、 $z$ を10倍して50を加えたものである。すなわち、平均値と同じ得点は偏差値50、平均値よりも標準偏差で1つ分だけ大きい得点が偏差値60、標準偏差で1つ分だけ小さい得点が偏差値40となる。

(9) 学習の転移

先の課題に対する学習が、後の課題の学習に影響することを学習の転移という。先の学習が後の学習を促進する場合を正の転移、阻害する場合を負の転移という。刺激や課題間の類似性、学習する反応間の類似性の影響を受ける。異なる刺激・課題間で共通する概念を学習した場合には正の転移が生じることから、概念学習の抽象度を検討する際に用いられることもある。

(10) 学習性無力感

先に行った学習課題において「解決できないこと」を経験すると、後に行う別の課題の学習が遅れる、あるいは難しくなる現象を学習性無力感という。オペラント条件づけでは、反応が正の強化子の生起や負の強化子の不生起につながる場合に反応の生起頻度が高まるが、学習性無力感は「反応が意味のある結果につながらないこと」が学習されることを示している。

(11) 刺激閾・絶対閾

刺激の存在が知覚されるかされないかの境目のこと。その強度等の値が閾値である。

(12) カテゴリのプロトタイプ理論

概念表象に関する理論であり、あるカテゴリの特徴は、それに含まれるカテゴリメンバーの典型的な特徴をもつプロトタイプに象徴されるとする。ある事象がそのカテゴリに含まれるかどうかはプロトタイプとの類似度で決まる。カテゴリメンバーはプロトタイプの持つ特徴を全て共有する必要はなく、プロトタイプと重複する特徴が多いほど典型的なカテゴリメンバーとされ、重複する特徴が少ないとそのカテゴリに含まれるかどうか曖昧になる。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 3 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	外国人
試験科目	ジェンダー学		

(注意)問題1、問題2、問題3の回答は、それぞれ別の回答用紙に記入してください。

問題1 以下の文章は初期アメリカにおけるジェンダー問題を扱った文献からの引用です。  
読んで続く設問に答えなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 3 枚のうち 2 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	外国人
試験科目	ジェンダー学		

(From *Writing Early America: Empire to Revolution*, Trevor Burnard, University of Virginia Press, 2023, pp. 131-132)

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 3 枚のうち 3 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	外国人
試験科目	ジェンダー学		

- (1) 第1パラグラフ6-7行目に“Gender is central to the ‘new’ imperial history [以下略].”とあるがなぜそのように言えるのか、本文の主張をまとめて記述しなさい。
- (2) 第2パラグラフ3-4行目に“The return of imperialism as a major organizing principle in the field has changed gender studies considerably.”とあるが、本文の説明をまとめて記述しなさい。
- (3) 第4パラグラフ1-2行目に“If empire is about managing difference, then gender is an important category to consider.”とあるが、その理由を著者はどのように説明しているか、まとめて記述しなさい。

問題2 次の(1)～(6)のトピックのうち 2つを選び、それぞれをジェンダー学の視点から論じなさい。

- (1) アテンション・エコノミーと身体の商品化
- (2) ソーシャルメディアとインターセクショナリティ
- (3) マイクロアグレッションとトキシック・マスキュリニティ
- (4) 性の多様性とバックラッシュ
- (5) スポーツと機会均等
- (6) 抵抗とファンカルチャー

問題3 ジェンダー学に関する学術調査と理論構築について、次の問いに答えなさい。

- (1) 量的調査における仮説設定の意義について、操作的定義、帰無仮説、統計的検定の3語を用いながら、具体的に説明しなさい。
- (2) 質的調査における仮説構築の方法と必要性、留意点について、量的調査と対比しながら具体的に説明しなさい。
- (3) ジェンダー学に関する調査研究において、仮説の実証的な検証事例（あるいは仮説構築事例）を一つ取り上げ、その研究者・書名（または論文タイトル等）・調査対象・調査方法・仮説・主な調査結果について解説しなさい。

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 外国人

科目名 ジェンダー学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1 【出題意図】

英文の資料を読み解き、その要点を正確に記述する能力を試す事を意図している。解答者は単に日本語訳を記述するというのではなく、自分の言葉で適切に要約し、読者がわかりやすい言語で説明を行うことを求められる。

問題 2 【出題意図】

ジェンダー学を学ぶ上で必要な基本的概念や現在の潮流を理解しているのかを把握し、さらにそれらの語句やトピックを用いて論じる力があるかを確認するためのものである。

問題 3 【出題意図】

ジェンダー学の実証研究において求められる、調査法・仮説設定・理論構築に関する基礎的知識に関し、専門用語を用いて説明する能力をみることを意図している。あわせて、学んだ先行研究の枠組みを理解して自身の研究に生かす研究能力についてみることを意図している。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 5 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	哲 学		

(注意: 英語及び外国語の読解問題については、今回、辞書類の貸与はありません。)

I 次の2題中、1題のみを選択して解答しなさい。

(1) ①西洋哲学史における啓蒙的理性に対する批判について説明し、②「啓蒙」について、あなたなりの考察を展開しなさい。

(2) 自由意志と普遍的因果的決定論に関して、①それぞれについての肯定的／否定的信念を組み合わせることで、自由意志問題における複数の可能的立場(理論)を提示し、②それらを比較しながらいずれかの立場のメリット・デメリットを論じなさい。

II 次の(1)から(9)の項目から3項目だけを選択して、説明しなさい。

(1) パルメニデスによる自然哲学者批判

(2) エンペドクレスにおける「万物の四つの根」

(3) アリストテレスにおける「カテゴリーアー(範疇)」

(4) 開かれた問い論法(ムア)

(5) 反応的態度(ストローソン)

(6) リーガル・モラリズム

(7) 充足理由律

(8) 事行(Tathandlung)

(9) 反証可能性

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 5 枚のうち 2 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	<u>一般</u> 外国人・社会人
試験科目	哲 学		

(注意:英語及び外国語の読解問題については、今回、辞書類の貸与はありません。)

Ⅲ 次の英語文を読んで、内容を要約しなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 5 枚のうち 3 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	哲 学		

(注意:英語及び外国語の読解問題については、今回、辞書類の貸与はありません。)

IV 以下の(1)から(3)の 3 題((1)英語文, (2)フランス語文, (3)ドイツ語文)のうち, 1 題のみを選択し, 設問にしたがって答えなさい。

(1) 次の英語文はデイビッド・ヒュームの『人間知性研究』の一節である。すべてを日本語に訳しなさい。



2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 5 枚のうち 4 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般 外国人・社会人
試験科目	哲 学		

(注意:英語及び外国語の読解問題については、今回、辞書類の貸与はありません。)

(2) 次のフランス語文は、アナクサゴラスにおける「知性」について述べたものである。すべてを日本語に訳しなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 5 枚のうち 5 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	哲 学		

(注意:英語及び外国語の読解問題については、今回、辞書類の賞与はありません。)

(3) 次のドイツ語文をすべて日本語に訳しなさい。

出典: Hans-Georg Gadamer, *Wahrheit und Methode. Grundzüge einer philosophischen Hermeneutik*,  
Gesammelte Werke, Bd. 1, 6.Aufl., Tübingen: J.C.B.Mohr 1990, S.1(Z.2-Z.22)

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般

科目名 哲学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

I

(1) 【出題意図】

西洋近代における啓蒙思想についての基本的理解を確認し、問題意識と思考の展開力とを問うものである。

①については、ロマン主義やアドルノ・ホルクハイマーなどの代表的な議論を正確に理解しているかを確認する。

②については、①の批判を踏まえて自らの思考を展開し、論理的かつ説得的に表現できるかを判定する。

(2) 【出題意図】

自由意志問題における論争状況の基本的理解を確認し、人間の行為の責任についての問題意識と、それに関する思考の展開力とを問うものである。

①については、両立論、自由意志（実在）論、ハードデターミニズムといった基本的な立場を理解できているかを確認する。

②については、①の特定の立場について、その説得性と問題点を網羅的に理解できているかを評価する。また、自由意志と決定論に関する信念の矛盾について、矛盾を論理的かつ説得的に解消できているかを判定する。

II 【回答例あるいは出題意図】

(1) パルメニデスによる自然学者批判：アナクシマンドロスであれヘラクレイトスであれ、現象における存在の生成と消滅、運動と変化を自明の事実とする彼らの自然哲学説は、有が非有となり、非有が有となるという明らかな論理的矛盾を避けがたく含んでいる。「有る」とは「有った」でも「有

るだろう」でもなく、徹頭徹尾「有る」でなければならない。パルメニデスにとって「有る」の本性とは、「不生不滅」、「連続不可分」、「不動」、「完結」であり、この規定に基づいて自然哲学者における致命的な欠陥を剔出した。

(2) エンペドクレスにおける「万物の四つの根」：エンペドクレスは、パルメニデスの論理的要請に従い、万有を構成する実在は不生不滅で永遠不変であり、空虚を含まず、充実し均一同質であるとし、これを「火」「水」「土」「空気」の四要素と同定して、あらゆる事物にとって究極の存在基盤であるとともに多様性実現への尽きない潜在力を持つものとしてこれらを「万物の四つの根」と呼んだ。そして、これら四種の実在と、それらに作用する力としての「愛」と「争い」という原理によって、この世界の生成消滅、運動変化という現象を説明した。

(3) アリストテレスにおける「カテゴリーア（範疇）」：アリストテレスにおいて「カテゴリーア」とは、存在するものを、述語付けという観点から整理分類する場合の究極の区分を指す。すなわち、一般には「実体」「量」「性質」「関係」「場所」「時」「位置」「状態」「能動」「受動」がそれに当たる。主語的存在について、その「何であるか（実体）」を表す述語付け（例えば、ソクラテスについての「人間」）を「本質的述語付け」、それ以外のものを表す述語付け（例えば、ソクラテスについての「獅子鼻」）を付帯的述語付けと呼ぶ。

(4) 開かれた問い論法とは、ある議論が問題を完全に解決していないことを指摘する説得的議論である。ムアはこの論法を用いて自然主義者による善の定義を批判した。例えば、自然主義者が「善いとは快いことである」と善を定義したとする。この時、ある事物 X について、我々がそれを「快い」と正しく判断することができたとしても、なお「X は善いか」と正当に問うことは妥当である。というのは、快いものの全てが「善い」とは限らないためである。ならば、「快いものは善いか？」という問いは開かれた問いであり、それゆえに「善いとは快いことである」という定義は失敗していると考えられる。

(5) 反応的態度とは、他者から善行や危害を被った際に、我々が行為者に対して向ける肯定的もしくは否定的態度を指す。善行に対する典型的な態度は感謝であり、危害に対する典型的な態度は怒りである。ストローソンによれば、このような反応的態度は我々が人々とのネットワークにおいて、一定の善意と尊敬を互いに要求しあっていることに依拠している。このような相互要求とそれに基づく反応的態度は人間の社会的本性に深く根ざしており、責任実践を根底で支えているとストローソンは考えた。

(6) リーガル・モラリズムとは、社会一般の存続条件に関わる道徳的規範を除き、単にその社会の多数派が重要と考えているにすぎないような道徳的規範を法律によって社会の構成員全員に強制することを指す。例えば、同性愛者同士で性行為を営むことを法律で禁止するような事例がこれに該当する。法実証主義者の H. L. A. ハートは、リーガル・モラリズムを法による特定行動様式の強制、私生活への介入であると考え、「圧倒的多数に支持されている」という事実は特定の道徳的規範を少数派に強制する正当化根拠とはならないと批判した。

(7) 「何ものも理由なしには生じない」という原理で、ライプニッツが明確に自らの哲学体系の基盤に置いた。ライプニッツによれば、数学を典型とする、根本原理から演繹される知識は、「矛盾律」によって真偽を判定するのに対し、経験によって知られる事実は、この「充足理由律」によって根拠づけられる。

(8) フィヒテの知識学の根本概念であり、自我の根源的活動を指すものである。フィヒテによれば、自我は活動するものであると同時に活動の所産である。そこで、「活動」(Handlung)とその「事」(Tat)が一体となっているという意味で、Tathandlung と名づけた。彼の考えでは、自我とはどこかに存在するものではなく、自我は定立する働きそのものというものになる。

(9) 言明が偽とされる可能性のことであり、ポパーによって提唱された。彼によれば、経験科学的言明はすべて反証可能であり、反証可能性の度合いが高い言明ほどより豊かな情報内容をもつ。ここから、科学的態度とは、理論を反証にさらそうとする批判的態度として性格づけられる。

### III 【解答例】

人間の行動の場合、これまでの説明の探究はまったく成果がなかったわけではなく、一定の科学法則が確立されてきた。これらの法則の助けで、われわれは人びとの振るまい方について多くの予測をすることができている。しかしこれらの予測は、つねにすべての細部におよぶわけではない。われわれが正確に予想することができるのは、人間の行為のほんのわずかな部分にすぎないのである。しかしその理由は、われわれの調査が不十分だったからとも言えよう。心理学という科学は依然として初期段階にあり、発展するにつれて、より多くの人間の行為が説明されるだけでなく、その説明はよりいっそう細部にわたるものとなるだろう、というわけである。完璧な説明という理想は、現実はともかく、理論的には達成可能であり、そうでないことをア・プリオリに示すのは不可能だが、同じように、そうであるということも示されえない。ただ、これで人間の行動の領域において、諸々の理論の定式化や検証を続ける科学者が落胆することはないだろう。

しかし今、人間の行為に関する限り、その説明には限界があり、この限界は人間の自由という事実

によって設定されている、と想定せよ。これに対しては、人が自由に一定の行為を為す、あるいは為さないと感じる多くの事例において、われわれは今でも因果的な観点からその行為を説明できる、という明白な反論がある。しかし、人びとが、自由に行為すると信じている点でときに誤っているからといって、つねにそのように誤っているということが帰結するわけではないだろう。人が自由に行為したと信じているとき、じっさいにわれわれは彼の行為を因果的観点から説明することができるわけではないからである。決定論者なら、もし状況についてより多くの知識を持っていて、適切な自然法則を見つけれれば、それを説明できると主張するだろうが、それらの発見が為されるまでは、これはほんの信心深い希望にとどまるのである。むしろ、因果的説明ができない事例があること理由は、いかなる因果的説明も通用しないから、というのが本当のところなのではないか。そして、このことの訳は、行為者の選択が自分自身感じているように文字通り自由であったから、というのが本当なのではないか。

何らかの説明が現実に見つけられてはじめて説明は可能となると考えられるなら、これは実際に本当でありうる。しかし、たとえそうであっても、それは、道徳家に彼が欲するものをあたえるわけではない。なぜなら、道徳家は、人が自分の為すことに道徳的に責任を負うると推論するために、人は自由に行為することができることを切望しているからである。しかし、もし人が別な仕方ではなくある仕方で行為するというのが純然たる偶然の出来事だとすると、その人は自由ではあるかも知れないがほとんど責任を負うるものではない。じっさい、人の行為がわれわれにはまったく予測不能だと思われる場合、われわれはその人を道徳的行為者とはみなさず、気が触れているとみなすのである。

#### IV (1) 【英語】

【解答例】次のことは明らかのように思われる。すなわち、いかなる二つの出来事も互いに類似性をもたない、換言すればすべての対象が完全に新しく、かつて生じたどのような事柄とも一切の類似性をもたない、そのような仕方自然の情景がたえず推移するならば、その場合、我々は決してこれらの対象間に必然性の、すなわち連結の観念をわずかにすら獲得できなかったはずであろう。そのような想定に際して我々に言うことが可能なのは、ある対象もしくは出来事が他のものに続いて生じたということであり、一方が他方によって生み出されたということは言えない。原因と結果の関係は人類にとってまったくもって未知に違いない。自然のはたらきについての推察と推論は、その瞬間に終結してしまう。記憶と感覚が、我々の心が実在の存在についての知識にアクセス可能な唯一の手段である。それゆえに、必然性と因果性についての我々の観念は自然のはたらきに観察可能な斉一性からしか生じない。そこでは、類似の対象は互いに恒常的に接続しており、心は一方から他方の現れを推測するよう習慣によって決定されている。これらの二つの条件は、我々が事物に帰属可能な必然性のすべてを形づくっている。類似する対象の恒常的接続と一方から他方を帰結する推測を超えては、我々はいかなる必然性、すなわち連結の思念ももたない。

#### IV (2) 【フランス語】

【解答例】知性はまずもって、一種のきわめて微細できわめて純粋な実体——そうは言ってもなおも物質的実体（非物質的なものという観念はまだ存在していない）——だと解されている。微細な性質を有しているため、知性は他のあらゆる事物に浸透しうる。さらにまた、知性は認識をするもの、あるいはもっと正確にはすべてを知り尽くしているものである。じっさい、知性は思惟し、理解し、知る能力に他ならない。そして、アナクサゴラスによると、知性は、それがあらゆるところに入り込む限りで、至るところで思惟することが可能であり、その認識から逃れられるものはない。そして最後に、知性は強力で、有能である。「魂を持っている」事物——たとえば、あなたと私、そしてまたすべての動物、そしておそらくはすべての植物——は知性によって支配されている。アナクサゴラスが、われわれのすべての行為は情動よりむしろ理性によって決定されているのだと言いたいわけでないことは確かである。むしろ彼が言いたいのは、すべての行為は、すべての情動的行為ですら、知性からその形式を受け取っているということ。じっさい、私が、ほとんど抗うことのできない欲求に突き動かされて、飛びつくように水差しを取る場合、私の知性が尻込みしたのにちがいない、ということにはならない。むしろ逆に、その水差しは私の喉の渇きを癒やす機会を与えてくれるだろうということを知性が私に確信させてくれなかったなら私がそれへと飛びつくことはなかったであろう。まさにこの意味において、知性は生命をもつ事物を「支配」しているのである。宇宙的知性は、あらゆるものに浸透し、あらゆるものを知っており、それゆえ、あらゆるものを統制し、あらゆるものを支配することができるのである。

#### IV (3) 【ドイツ語】

【解答例】以下の探究は、解釈学の問題を取り扱う。理解という現象と、理解したことの正しい解釈という現象は、精神科学の方法論に特有な問題にすぎないのではない。古くから、神学的解釈学と法学的解釈学もあったが、そうした解釈学は、学問論的性格を持ってはなく、学問を通じて養成された裁判官や司祭がとる実践的態度に対応し、またその実践的態度に役立つものであった。こうして解釈学の問題は、その歴史的起源からして、近代科学の方法概念によって設定されている限界を踏み越えようとしている。テキストを理解し解釈することは、学問の関心事であるだけでなく、明らかに人間の世界経験全体にかかわる。解釈学的現象は、元来いかなる方法問題では決してない。この現象で問題となるのは、テキストをその他の経験対象のように何らかの学問的認識におさえ込むための、理解の方法ではない。つまり、この現象で第一に問題となるのは、科学の方法の理想を満たすような保証された認識の構成では決してない。——とはいえ、ここでも、認識と真理は問題となるのだが。伝統的理解においては、テキストが理解されるだけでなく、諸々の洞察が獲得され、諸々の真理が認識されるのである。では、それはどのような認識であり、どのような真理なのだろうか。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 5枚のうち 1枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	外国人
試験科目	心理学		

問題1 次のページから始まる英文を読んで設問に答えなさい。点線の引いてある語句については英文の最後に注釈があるので確認すること。

- (1) 下線部①を日本語に訳しなさい。
- (2) 下線部②を要約しなさい。
- (3) Figure 9.14 の部分の文章とグラフについて以下の問いに答えなさい。
  - 3-1. ここに書かれている Loftus & Palmer (1974) の実験は、何を明らかにするためになされたものか説明しなさい。
  - 3-2. 実験の手順を説明しなさい。
  - 3-3. Smashed と Hit グループの結果がどうなったかについて、グラフにある数値を用いて説明しなさい。
- (4) 下線部③について、どのような具体例があるか。本文の内容を訳すのではなく、自身で例を見つけて記述しなさい。

引用元

Cacioppo, J. T., & Freberg, L. (2015). *Discovering psychology: The science of mind* (2<sup>nd</sup> ed.). Cengage Learning. pp. 339, 2 行目-341, 11 行目.



( 5枚のうち 2枚目)

注釈

<sup>1</sup>courtroom settings 裁判など、誰かが自分の記憶したことを証言する状況のこと

<sup>2</sup>verbatim 誰かの言ったことや書かれていたことについて、一字一句違わないそのもののこと

<sup>3</sup>gist 誰かの言ったことや書かれていたことについて、その要約や骨子のこと

<sup>4</sup>the periodic table 周期表(元素を原子番号の順に並べた表のこと)

<sup>5</sup>hit 接触した

<sup>6</sup>smashed 衝突した

( 5枚のうち 4枚目)

問題2. 次の3つの実験手法には改善することが望ましい点がある。次の(1)から(3)それぞれの実験について、どのように改善すべきかと、その理由を答えなさい。

- (1) 音楽を聴きながら単語を覚えることは効果的かどうかについて調べる実験をした。60 人の実験参加者を集め、それぞれの参加者にロックを聴きながら英単語を覚える条件と、ジャズを聴きながら覚える条件を経験させ、覚えていた単語数を二つの条件で比較した。
- (2) 痛みの感じ方には個人差があるが、親しい人が側にいると痛みを感じにくくなる、または痛みにより耐えられるようになるということが言われている。このことが本当かどうかを調べる実験をした。痛みの知覚は氷水に手をつけたままでいられる秒数で測定した。100 人の実験参加者を集め、そのうち50人は痛みを耐えている間に隣に立っている自分の親しい人と話をするのが許された(友人条件)。後の50人は一人で痛みを耐えた(一人条件)。後に友人条件と一人条件の結果を比較した。
- (3) ある実験をする際に、必要な参加者の数を過去の似たような実験を参考にして50名に決めた。しかし、実際に実験してみると参加者がなかなか集まらなかった。25名の時点では結果が統計的に有意にならなかったため、実験を続け28名に達した時点でまた分析したが有意ではなかった。さらに実験を続けて合計30名になったところで分析をすると有意な結果となっていたため、そこで実験完了とした。

問題3. 以下から1つ選んで答えなさい。

- (1) 統合失調症の概要を、発症率、症状、要因などを含めてまとめなさい。
- (2) 古典的条件づけが獲得された後に消去を行うことで条件反応が生じなくなっても、条件刺激と無条件刺激の間の結びつき(連合)が消失するわけではないと考えられている。消去手続きによってCSとUSの連合が消失するのではないと考えられる理由について、根拠となる現象を1つ以上あげて説明しなさい。
- (3) ヒトの脳新皮質を4つの部位に分け、それらがどのような認知機能をもっているかを説明しなさい。

( 5枚のうち 5枚目)

問題4. 以下の用語から4つ選んで簡潔に説明しなさい。

- (1)概日リズム
- (2)知覚のトップダウン処理
- (3)オペラント条件づけにおける「負の罰」
- (4)シナプス
- (5)質問紙やテストを使った心理測定における妥当性
- (6)図と地(図地反転)
- (7)社会的参照
- (8)偏差値
- (9)学習の転移
- (10)学習性無力感
- (11)刺激閾・絶対閾
- (12)カテゴリのプロトタイプ理論

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 外国人

科目名 心理学

解答例又は出題意図

問題1 次のページから始まる英文を読んで設問に答えなさい。点線の引いてある語句については英文の最後に注釈があるので確認すること。

(1) 下線部①を日本語に訳しなさい。

参加者が複雑なストーリーを何度か繰り返し語るように指示されると、彼らはストーリーを単純化したり、特定の部分を強調したり、自分の世界観に合ったように内容を調節したりといったことをする傾向がみられた。

(2) 下線部②を要約しなさい。

以下の3要素が含まれているべきである。

1. 記憶には様々なタイプがあり、見聞きしたものをそっくりそのまま保持する形態から、骨子だけを抜き出したような形態もある。
2. 記憶したものをどのくらいの正確さで思い出さなければいけないかによって形態を変えている。
3. 思い出す際のニーズに合わせて形態を変えることによって記憶の資源を有効に使っている。

(3) Figure 9.14 の部分の文章とグラフについて以下の問いに答えなさい。

3-1. ここに書かれている Loftus & Palmer (1974) の実験は、何を明らかにするためになされたものか説明しなさい。

事故について参加者に聞く時に使う質問文の語の種類を変えると、参加者の事故の記憶がその語に影響されて再構築されるかどうかを明らかにする。

3-2. 実験の手順を説明しなさい。

参加者は車が衝突事故を起こすビデオを観た。次に参加者は、ビデオの中の車がどのくらいのスピードを出していたかを答えるように言われた。その時に、一方の参加者グループは「車が接触したときにどのくらいのスピードだったか」と聞かれた。もう一方のグループは「接触したとき」ではなく「衝突したとき」という文言を使った質問を受けた。一週間後に参加者はビデオの中にガラスの破片が映っていたかを聞かれた。

3-3. Smashed と Hit グループの結果がどうなったかについて、グラフにある数値を用いて説明しなさい。

ビデオの中にガラスの破片が映っていたかどうかについて、「衝突」という言葉を聞いたグループは「はい」と答えた人がおよそ 30%、「いいえ」と答えた人が 70%であった。「接触」という言葉を聞いたグループは「はい」が約 15%、「いいえ」が 85%であった。「衝突」グループの方が「接触」グループよりも高い確率でガラスの破片が映っていたのを覚えているという結果になった。ちなみに正しい回答は「いいえ」であった。

(4) 下線部③について、どのような具体例があるか。本文の内容を訳すのではなく、自身で例を見つけて記述しなさい。

「テレビで見た景色を実際に見た景色だと記憶していた」「本で読んだ内容を、誰かに聞いたことだと記憶していた」など、記憶の情報源を誤っている例であれば正解とする。

#### 引用元

Cacioppo, J. T., & Freberg, L. (2015). *Discovering psychology: The science of mind* (2<sup>nd</sup> ed.). Cengage Learning. pp. 339, 2 行目-341, 11 行目.

問題2. 次の3つの実験手法には改善することが望ましい点がある。どのように改善すべきかと、その理由を答えなさい。

(1) 音楽を聴きながら単語を覚えることは効果的かどうかについて調べる実験をした。60 人の実験参加者を集め、それぞれの参加者にロックを聴きながら英単語を覚える条件と、ジャズを聴きながら覚える条件を経験させ、覚えていた単語数を二つの条件で比較した。

音楽を聴きながら単語を覚えることが、聴かないで覚えるよりも効果的かどうかを示さなくてはいけないので、音楽を聴かない統制群を作るべきである。

(2) 痛みの感じ方には個人差があるが、親しい人が側にいると痛みを感じにくくなる、または痛みにより耐えられるようになるということが言われている。このことが本当かどうかを調べる実験をした。痛みの知覚は氷水に手をつけたままでいられる秒数で測定した。100 人の実験参加者を集め、そのうち 50 人は痛みを耐えている間に隣に立っている自分の親しい人と話することが許された(友人条件)。後の 50 人は一人で痛みを耐えた(一人条件)。後に友人条件と一人条件の結果を比較した。

痛みの感じ方が個人で違うので、親しい人がいるかどうかだけが痛みの知覚の違いを生み出すかを調べるためには、同じ人が友人条件と一人条件の両方を経験しなくてはならない。

(3) ある実験をする際に、必要な参加者の数を過去の似たような実験を参考にして 50 名に決めた。しかし、実際に実験をしてみると参加者がなかなか集まらなかった。25 名の時点では結果が統計的に有意にならなかったため、実験を続け、28 名に達した時点でまた分析したが有意ではなかった。さらに実験を続けて合計 30 名になったところで分析をすると有意な結果となっていたため、そこで実験完了とした。

サンプル数が少なすぎるにも関わらず統計的に有意な結果が出た場合、実際は真である帰無仮説を誤って棄却してしまっている可能性がある。そのため、参加者を増やしながらか有意な結果が出たところで恣意的に実験を終了するのではなく、必要な参加者数をきちんと集めてから分析をしなければならない。

問題3. 以下から1つ選んで答えなさい。

(1) 統合失調症の概要を、発症率、症状、要因などを含めてまとめなさい。

120 人に 1 人が患うとされている精神疾患で、青年期に発症する人が多い。症状は本来あるはずのないものが現れる陽性症状と、通常ある能力が低下する陰性症状、および認知機能障害の三つに分けられる。陽性症状には幻覚、妄想、自我障害があり、陰性症状には感情の平板化、自発性減退、社会的引きこもりなどがある。認知機能障害は言語記憶、実行機能、注意機能などが低下することを指す。統合失調症は脳の神経ホルモンのバランスが乱れることによって生じるとされており、遺伝的要因の影響が大きい事が分かっている。

- (2) 古典的条件づけが獲得された後に消去を行うことで条件反応が生じなくなっても、条件刺激と無条件刺激の結びつき(連合)が消失するわけではないと考えられている。消去手続きによってCSとUSの連合が消失するのではないと考えられる理由について、根拠となる現象を1つ以上あげて説明しなさい。

消去によって条件反応が完全に消失しても、何も実施しない期間を経て再び条件刺激を提示すると条件反応が生じる。この現象を自発的回復という。さらに消去を繰り返すことで自発的回復が生じなくなっても、再び条件づけを行うと速やかに形成される。これらの現象は、消去は条件刺激と無条件刺激の間の連合を消失させるというよりも、条件刺激に対する無条件刺激の不在により、条件反応を抑制するような別の学習が生じていることを示していると考えられる。(例としては、消去中の別の刺激の提示で条件反応が一時的に回復する脱抑制 *disinhibition*、消去を行った文脈からの文脈の変更で条件反応が回復する復元効果 *renewal*、消去後の無条件刺激の単独提示により条件刺激に対する条件反応が回復する復帰効果 *reinstatement* でもよい)

- (3) ヒトの脳新皮質を4つの部位に分け、それらがどのような認知機能をもっているかを説明しなさい。

脳新皮質は前頭葉、側頭葉、頭頂葉、後頭葉の4領域に大きく分けることができる。前頭葉は運動や行動の計画、予測、いわゆる思考に関する機能を持ち、身体行為の実行や制御に関わる。側頭葉は対象認識や対象の知識の座であり、頭頂葉は空間処理や感覚知覚情報の統合的処理を担っている。そして後頭葉はそのほぼ全域が視覚情報処理に関わる機能を持っている。(思考や運動、言語、視覚機能について、より詳細に記述しても良い)

問題4. 以下の用語から4つ選んで簡潔に説明しなさい。

- (1) 概日リズム

約1日(24時間)の周期で変動する生体活動現象のこと。睡眠や(深部)体温変動などがその例として知られている。

- (2) 知覚のトップダウン処理

感覚器官で受容した情報を、既に持っている知識や経験、スキーマなどに基づいて処理する方法のこと。

- (3) オペラント条件づけにおける「負の罰」

正の罰が反応に対して嫌悪刺激(負の強化子)を提示することにより反応の生起頻度を低下させる手続きであるのに対して、負の罰では、反応に対して「生起している」あるいは「生起するはずであった」快刺激(正の強化子)を省略することにより、反応の生起頻度を低下させる手続きである。負の罰(省略訓練)では標的となる反応以外の別の反応が強化されることから他行動分化強化手続きとも呼ばれる。

- (4) シナプス

神経細胞同士が信号伝達のために伝達物質を授受する接合部位のこと。

- (5) 質問紙やテストを使った心理測定における妥当性

質問文やテストの課題が、研究者の測定したい心理的对象をきちんと反映しているかどうかの程度のこと。

- (6) 図と地(図地反転)

一般に、知覚世界における注目対象を図、その背景を地と呼ぶ。その背景にあった対象に注目すると、それまでの地が図となり入れ替わる。この交替現象を図地反転と呼んでいる。

(7) 社会的参照

行動選択場面において自分だけではどうしたらよいかわからない時に、周りにいる人の表情や態度を参考にして決定すること。特に幼児が他者の感情や意図を理解できていることを示す現象としてよく扱われる用語である。

(8) 偏差値

平均値や標準偏差の大きさに左右されずに、正規分布内の相対的位置を示すための統計的指標。ある得点 $X$ の偏差値は、 $X$ と平均値の差を標準偏差で除した標準得点 $z$ について、 $z$ を10倍して50を加えたものである。すなわち、平均値と同じ得点は偏差値50、平均値よりも標準偏差で1つだけ大きい得点が偏差値60、標準偏差で1つだけ小さい得点が偏差値40となる。

(9) 学習の転移

先の課題に対する学習が、後の課題の学習に影響することを学習の転移という。先の学習が後の学習を促進する場合を正の転移、阻害する場合を負の転移という。刺激や課題間の類似性、学習する反応間の類似性の影響を受ける。異なる刺激・課題間で共通する概念を学習した場合には正の転移が生じることから、概念学習の抽象度を検討する際に用いられることもある。

(10) 学習性無力感

先に行った学習課題において「解決できないこと」を経験すると、後に行う別の課題の学習が遅れる、あるいは難しくなる現象を学習性無力感という。オペラント条件づけでは、反応が正の強化子の生起や負の強化子の不生起につながる場合に反応の生起頻度が高まるが、学習性無力感とは「反応が意味のある結果につながらないこと」が学習されることを示している。

(11) 刺激閾・絶対閾

刺激の存在が知覚されるかされないかの境目のこと。その強度等の値が閾値である。

(12) カテゴリのプロトタイプ理論

概念表象に関する理論であり、あるカテゴリの特徴は、それに含まれるカテゴリメンバーの典型的な特徴をもつプロトタイプに象徴されるとする。ある事象がそのカテゴリに含まれるかどうかはプロトタイプとの類似度で決まる。カテゴリメンバーはプロトタイプの持つ特徴を全て共有する必要はなく、プロトタイプと重複する特徴が多いほど典型的なカテゴリメンバーとされ、重複する特徴が少ないとそのカテゴリに含まれるかどうか曖昧になる。



2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 8 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	<input type="checkbox"/> 一般 ・ <input type="checkbox"/> 外国人 ・ <input type="checkbox"/> 社会人
試験科目	社会学		

問題1 次の人名・用語の中から3つを選び詳しく説明しなさい。選んだ語句と番号を  
はじめに記すこと。いずれも日本語で解答すること。

1. 社会的望ましきバイアス (social desirability bias)
2. 日本的雇用慣行 (Japanese employment practices)
3. 記号消費 (semiotics of consumption)
4. ロナルド・イングルハート (Ronald F. Inglehart)
5. 測定水準 (levels of measurement)
6. 共有地の悲劇 (tragedy of the commons)

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 8 枚のうち 2 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	社会学		

問題2 次の表は、自身の階層的位置を10段階で主観的に評価した「階層帰属意識(10段階)」に対する、本人または配偶者の雇用形態などの影響を回帰分析した結果である。回帰分析の結果を示す際にしばしば用いられる形式で、この表は作成されている。この表をよく読んで、以下の設問に解答しなさい。いずれも日本語で解答すること。

(1) 表の独立変数のなかで「高校」、「本人:正規雇用」、「配偶者:正規雇用」には係数が推定されていない。このようなカテゴリーのことをなんと呼ぶか答えなさい。

(2) この分析結果から読み取れることを詳しく説明しなさい。その際に、必ず雇用形態の影響について言及すること。そのうえで、それらの傾向の背後にどのようなメカニズムがあると解釈するか、あなたの考えを述べなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 8 枚のうち 3 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	社会学		

表の用語説明

等価年収:世帯年収を世帯員数の平方根で割った値。単位は百万円。

財産数:調査で質問した20の財産項目のうち持っていると回答した数。

(『若年非正規雇用の社会学——階層・ジェンダー・グローバル化』, 太郎丸博著, 大阪大学出版会, 2009年, 81ページ。出題のために, 一部削除している。)

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 8 枚のうち 4 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	社会学		

問題3 次の文章は、社会学の「理論」の意義について検討を行った論文の抜粋である。これらを読み、以下の問題に、すべて日本語で答えなさい。

- (1) Abstract の下線部を日本語に訳しなさい。
- (2) 第1の抜粋部分で、著者が批判の対象にしているのは、どのようなことを説明しなさい。
- (3) 第3の抜粋部分に記されている著者の主張を、整理して要約しなさい。
- (4) これらの文章のすべての内容を踏まえて、著者の議論に対してのあなたの見解をまとめて述べなさい。

(Fuhse, Jan A., 2022, "How Can Theories Represent Social Phenomena?" *Sociological Theory*, Vol.40(2): 99-123. 以下同じ。その 99 ページ 5 行目から 16 行目まで)

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 8 枚のうち 5 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	社会学		

(つづき)

第1の抜粋部分

(同論文、その 102 ページ 32 行目から 103 ページ 16 行目まで)

単語: credo 信条、方針

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 8 枚のうち 6 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	社会学		

(つづき)

第2の抜粋部分

(同論文、その 106 ページ 32 行目から 107 ページ 6 行目まで)

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 8 枚のうち 7 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般 ・ 外国人 ・ 社会人
試験科目	社会学		

(つづき)

第3の抜粋部分

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 8 枚のうち 8 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	社会学		

(つづき)

第3の抜粋部分のつづき

(omitted later 後略)

(同論文、その 118 ページ 29 行目から 119 ページ 25 行目まで)

単語: isomorphism 同型、同型写像



2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般・外国人

科目名 社会学

解答例又は出題意図

問題 1

出題意図：社会学関連の概念や人名について説明する問題で、社会学の基礎知識を身につけているかどうかを問うています。社会学の各種辞典での該当項目の説明が、よい回答例になります。

問題 2

(1)

出題意図：社会統計学についての知識をもっており、それをもとにして計量社会学の分析結果を示した表を理解できているかを問うています。

(2)

出題意図：社会統計学についての知識をもっており、それをもとにして計量社会学の分析結果を示した表を理解できているかを問うています。この問題では表から読み取れることを理解した上で、その結果について社会的な考察を深めること能力を問うています。

問題 3

(1) 出題の意図：社会学における理論の位置づけに関して述べた出題文（英語）を和訳することで、基本的な用語の英語表現についての知識を問うています。

(2) 出題の意図：社会学における理論の位置づけに関して述べた出題文（英語）を読解することで、社会学の方法論的な議論でのリアリズムと構築主義の関係についての把握できているかを問うています。

(3) 出題の意図：社会学における理論の位置づけに関して述べた出題文（英語）を読むことで、理論の描き出すものの意義や特性、経験的研究と理論との関係についての議論を理解する基礎力があるか、理論的な論文を読解できるかを評価すること、以上をねらいとして出題しています。

(4) 出題の意図： 社会学の理論の位置づけに関する基礎的理解を有した上で、それをもとにして英語の出題文を理解し、自分の主張を含めながら学問的な議論を展開する能力を問うています。

2024年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）  
第2期募集 入学試験問題

（4枚のうち 1枚目）

専攻名【 人文学専攻 】 選抜区分【 一般・外国人 社会人 】  
試験科目【 日本史学 】

【第一問】以下のテーマについて、答案用紙一枚を用いて論述しなさい。

近世における政治と学問の関係

【第二問】次の史料Ⅰ～Ⅲの中から二題を選択し、それぞれの内容の概要を示し、日本史研究上の意義を述べなさい。その際、一題につき答案用紙一枚を使用すること。なお、出題の趣旨に鑑みて、個々の設問の出典は記載していない。

I

2024年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

(4枚のうち 2枚目)

専攻名「人文学専攻」  
試験科目「日本史学」  
選抜区分「一般・外国人」  
社会人

2024年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）  
第2期募集 入学試験問題

（4枚のうち 3枚目）

Ⅲ

専攻名【 人文学専攻 】  
試験科目【 日本史学 】

【 選抜区分【 一般・外国人 社会人 】】

※【 】は出題者による。

（4枚のうち 4枚目）

専攻名「 人文学専攻 」 試験科目「 日本史学 」 選抜区分「 一般・外国人 社会人 」

【第三問】以下に掲げるコピーの古文書を解説しなさい（縦書き、原文通り改行のこと）。

2024 年度 大学院人間社会環境研究科博士前期課程 人文学専攻 社会人 日本史学

第二問の出典は以下の通り。ただし、第二問については出典を明記したことが解答のヒントになる場合があるため、問題用紙には出典を書いていない。

**【第二問】の出典**

- I 黒板勝美・国史大系編修会編『新訂増補 国史大系 類聚三代格 前篇』（吉川弘文館、昭和 52 年）27 頁 5 行目～11 行目
- II 歴史学研究会編『日本史史料 [3] 近世』（岩波書店、2006 年）394 頁下段 10 行目～395 頁下段最終行
- III 日本歴史学会編『演習古文書選 近代編 上』（吉川弘文館、1978 年）上段 38 行目～114 頁下段 13 行目

**【第三問】**

金沢大学上田長生研究室所蔵・摂津国島下郡安威村乾家文書をコピーした。

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 社会人

科目名 日本史学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

【第一問】

近世史の重要テーマについて研究史の現状と課題をふまえ、自らの研究課題を設定する力を問うのが出題のねらいである。

【第二問】

各時代の研究遂行に必要不可欠である史料読解力を有しているかを確認し、かつⅠ平安時代の宗教、Ⅱ近世後期の政治社会、Ⅲ近代の政局史についての知見を持ち合わせているかどうかを確認するのが、出題の狙いである。

【第三問】

大学院博士前期課程における研究遂行に必要不可欠な古文書読解力を有しているかを問うのが出題のねらいである。



2024年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

第2期募集 入学試験問題

（3枚のうち 1枚目）

専攻名【人文学】  
試験科目【東洋史学】  
【選抜区分【一般・外国人・社会人】】

\*試験問題には、**問題1**、**問題2**および**問題3**がある。それぞれの指示に注意しながら、**問題1**、**問題3**の全

てに解答すること。問題用紙は全部で3枚ある。

\*解答用紙は「横書き」で用いること。また、解答の際には、**問題2**ことに解答用紙を替えて解答すること。

**問題1**

以下の文章の、線で囲った**A**と**B**の部分を、それぞれ現代日本語に訳しなさい。なお、注釈の部分は訳さなくてよい。

〔戴元枝著《明清徽州塾师研究》（安徽大学出版社、二〇二二年）

三頁十七～二十三行目、二十七～二十八行目、四頁一～十三行目、二十二～二十四行目〕

2024年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

第2期募集 入学試験問題

（ 3枚のうち 2枚目）

専攻名【人文学】

【選抜区分【

一般

外国人・

社会人】

試験科目【東洋史学】

**問題2**

以下の史料は、『晋書』卷八十一に収められている劉胤伝である。線で囲ったAとBの部分を現代日本語に訳しなさい。なお翻訳にあたっては、文脈の繋がりと論理展開が明快になるよう、語句と語句のつながりかたにも留意すること。

（3枚目へつづく）

2024年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 3枚のうち 3枚目)

専攻名【人文文学】  
試験科目【東洋史学】  
【選抜区分【一般・外国人・社会人】】

(つづき)

【注】

- \* 田單 .. 戦国時代の斉の人。潜王に仕え、燕の楽毅の攻撃により斉が滅亡寸前に陥った時、優れた知略により国を救った。
- ※ 包胥 .. 春秋時代の楚の人。平王、昭王、恵王に仕え、復讐のため呉の將軍となつて攻撃してきた呉子胥に対して、秦の援軍を得て反撃し、国を救った。
- \*\*\* 王悦 .. 東晋の宰相・王導の子。



〔唐〕房玄齡等撰『晋書』第七冊(中華書局、一九七四年)二二一三頁四行目〜二二一四頁十四行目。〕

問題3

以下の語句のうちから5つを選び、その内容や歴史的意義などについて、現代日本語もしくは現代中国語で説明しなさい。

陳寅恪 湖州 十三經 義熙土断 曹操高陵 劉基 州牧  
武英殿聚珍版叢書 胡三省 举人 典籤 回避(廻避) 制度

〈以上〉

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般

科目名 東洋史学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

〈出題意図〉

問題 1

修士論文の執筆に不可欠な関連知識の確認に加え、中国語に関する素養、特に論文の読解力を問うものである。

問題 2

修士論文の執筆に不可欠な関連知識の確認に加え、関連する史料の理解力など、その史料を正確に解釈できる能力を多面的に問うものである。

問題 3

修士論文の執筆に不可欠な、東洋史学に関する基礎的知識を幅広く会得しているかどうかを問うものである。

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 私費外国人

科目名 東洋史学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

〈出題意図〉

問題 1

修士論文の執筆に不可欠な関連知識の確認に加え、  
学術論文の読解力と日本語の表現力を問うものである。

問題 2

修士論文の執筆に不可欠な関連知識の確認に加え、関連する史料の理解力など、  
その史料を正確に解釈できる能力を多面的に問うものである。

問題 3

修士論文の執筆に不可欠な、東洋史学に関する基礎的知識を幅広く会得しているか  
どうかを問うものである。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 2枚のうち 1枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	考古学		

問題1 次の英文を読み、(1)～(3)の問いに答えなさい。

(出典: Brian Hayden, *Archaeology: The Science of Once and Future Things*. W. H. Freeman and Company, 1993. 129 頁 39 行目～130 頁 2 行目、および 130 頁 23～33 行目)

- (1) 英文をすべて和訳しなさい。
- (2) 英文 1 行目にある “the three-age theory” について、簡潔に説明しなさい。
- (3) 英文 4 行目にある “diffusionism” について、「社会進化主義」との関係性を含めて、簡潔に説明しなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 2枚のうち 2枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	考古学		

問題2 次にあげる(1)~(7)の用語のうち 4 つを選び、それぞれについて簡潔に説明しなさい。解答には選んだ番号と用語を明記すること。

- (1) 複合遺跡
- (2) IntCal 校正曲線
- (3) ヤンガー・ドリラス
- (4) (埋蔵文化財の)記録保存
- (5) 移牧(Transhumance)
- (6) 炆器
- (7) (北メソポタミアの)眼の偶像

問題3 下はイラク共和国に所在する遺跡から出土した遺物の写真である。この遺物について、分かるところを述べなさい。

問題4 考古学において「相対年代」を決定する方法について述べなさい。

問題5 自身が研究に取り組みたい分野において、学界が抱えている現在の課題を論じなさい。

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般

科目名 考古学

解答例又は出題意図

問題 1

(1) 三時代法が示されて以来、考古学者たちは過去の文化の性質を探りはじめ、また文化変化の理由をみつけようとしはじめた。この努力には、大理論（グランド・セオリー）の開発が欠かせなかった。その中から、伝播主義、歴史的個別主義、文化的唯物論、認知主義、構造主義が現われた。

（中略）

考古資料の年代決定に関する技術上の変化や多くの新手法の開発は、この学問分野を革命的に変えた。今や、考古学者たちは考古資料がもつ意味の新しい次元を模索している。こうした新しい次元は、主に実験と民族考古学、ないし過去の文化に光を当てるための現代の伝統的社会の研究に基づく類推を通じて、いまだ確立の過程にある。過去を解釈するための類推の利用には、注意を払わなければならない。類推は 4 つの基本的なレベル、すなわち常識的類推（もっとも弱い）、一般論的類推、法則からの類推、そして直接の歴史的類推（もっとも強いが適用は最も狭い）のいずれかで行なわれる。

(2) “the three-age theory” すなわち三時代法とは、利器の材料の変化に基づいて、人類の歴史を古い方から「石器時代」「青銅器時代」「鉄器時代」の三つの時代に区分する考え方である。19 世紀、デンマークのクリスチャン・トムセンが提唱した。

(3) “diffusionism” すなわち伝播主義とは、異なる文化間の類似や文化変化を、一つないし限られた中核地で発生した文化が伝播していった結果として説明する考え方。人類の諸文化を未開から文明までの進化段階に分類することでその多様性を説明する「社会進化主義」に対する批判から生まれた。

問題 2

(1) 複合遺跡とは、一時期に営まれた遺跡（単純遺跡）ではなく、複数の異なる時期の考古学的証拠が層位を異にし、あるいは古いものを破壊した状態で、重複して残されている遺跡のことである。



(2) IntCal 較正曲線は、いくつかの仮定を基に求められるモデル年代であるところの放射性炭素年代を暦年代に換算するために使われる、汎用的なデータベースである。日本を含む北半球の陸上試料に適用される。樹木年輪や年縞堆積物などから得られた情報に基づいて数年おきに更新されており、現在は IntCal20 が最新版である。

(3) ヤンガー・ドリラスとは、更新世の終わり、約 12,900 年前から 11,500 年前までにかけて訪れた、寒冷・乾燥期のことである。しばしば西アジアでの農耕の開始と関連付けられ、環境の悪化により食料生産の必要性が生じたという説がある。

(4) (埋蔵文化財の) 記録保存とは、何らかの理由で埋蔵文化財包蔵地が破壊・消失の危険にさらされた際の対処法の一つで、埋蔵文化財そのものを現状のまま残すのではなく、発掘調査によって埋蔵文化財の情報の記録や出土遺物を残すことである。

(5) 移牧とは、家畜を季節ごとに決まった放牧地の間で移動させながら飼育する牧畜の一形態。夏季に標高の高い冷涼な放牧地を利用し、冬季に低地へと移動する形態が一般的である。

(6) 炆器とは、英語の stone ware の訳語であり、やきものの一種である。陶器と磁器の中間的な性質をもち、硬質で吸水性が低い。1200°C前後の高火度で焼き締められ、自然釉がかかる場合もあるが、意図的に施釉されることはほとんどない。日本の古墳時代から古代にかけて作られた須恵器などが炆器にあたる。

(7) 眼の偶像とは、銅石器時代の北メソポタミアを中心に分布する、極端に強調された眼と単純化された胴部以下を特徴とする小人物像。シリア北部に所在するテル・ブラク遺跡の通称「眼の神殿」から出土した数百点もの石製像が著名である。神殿への奉納品と考えられており、当時の祭祀や宗教に迫りうる数少ない遺物である。

### 問題 3

紀元前 4 千年紀、南メソポタミアを核として広がったウルク文化に特徴的な、Beveled Rim Bowl と呼ばれる粗製土器である。装飾の欠如、型押しによる成形、平底で器壁が直線的に外向する小形かつ厚手の鉢形器形、口縁部の面取り、混和材を多く含んだ胎土、器面の粗いナデ調整などが特徴である。出土量の多さと製作技術のあり方から大量生産された土器と考えられている。その機能に

については計量升との説やパン焼き型との説など諸説あり、複雑社会や都市化の議論と関連して語られることも多い。

#### 問題 4

相対年代とは、複数の資料相互の新旧関係にもとづいた年代である。考古学においては主に型式学と層位学に基づいて決定されるが、本設問ではそうした基礎的な方法論に対する理解の深さを審査する。

#### 問題 5

本設問では、志望する研究分野に対する認識を確かめるとともに、研究動向や自身の社会的・学術的な立ち位置への意識の高さと理解の深さを審査する。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 4枚のうち 1枚目)

専攻名 Division	人文学 Humanities	選抜区分 Selection	社会人 Working Adults
試験科目 Special Subjects	考古学 Archaeology		

Question 1. Please read the following text and answer the questions.

(出典 Colin Renfrew and Baul Bahn, *Archaeology: Theories, Methods and Practice*, Seventh Edition. London: Thames & Hudson, 2016, p. 199, l. 33-57.)

- (1) Please explain the meaning of the underlined sentence.
- (2) How do we understand the social ranking from individual burials? Please explain your thoughts by referring example(s).

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 4枚のうち 2枚目)

専攻名 Division	人文学 Humanities	選抜区分 Selection	社会人 Working Adults
試験科目 Special Subjects	考古学 Archaeology		

Question 2. Please read the following text and answer the questions.

\*Please disregard the note numbers 53, 54 and 55 in the text.

(出典 Paul Nicholson, "Studying Materials and Technology: An Introduction," In Ian Shaw and Elizabeth Bloxam (eds.), *The Oxford Handbook of Egyptology*. Oxford: Oxford University Press, 2020, pp. 277, l. 30-278, l.30.)

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 4枚のうち 3枚目)

専攻名 Division	人文学 Humanities	選抜区分 Selection	社会人 Working Adults
試験科目 Special Subjects	考古学 Archaeology		

- (1) Please evaluate the arguments in the text.
- (2) Similar arguments can be made for other subjects in Egyptian Archaeology. Please write an essay to evaluate the current situation of the subject(s).

Question 3. Please chose and explain four key words among the followings.

1. Stratigraphy
2. Archaeological Reconnaissance (or Surface Survey)
3. Typology in Archaeology
4. Tell el-Amarna
5. Characterization (Sourcing)
6. Shabti figure
7. Cultural Resource Management (CRM)
8. Assemblage in Archaeology

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 4枚のうち 4枚目)

専攻名 Division	人文学 Humanities	選抜区分 Selection	社会人 Working Adults
試験科目 Special Subjects	考古学 Archaeology		

Question 4. Please write a short essay explaining and discussing archaeological features in this area shown in the photo.

出典

[https://en.wikipedia.org/wiki/Deir\\_el-Bahari#/media/File:Tempel\\_der\\_Hatschepsut\\_\(Deir\\_el-Bahari\).jpg](https://en.wikipedia.org/wiki/Deir_el-Bahari#/media/File:Tempel_der_Hatschepsut_(Deir_el-Bahari).jpg)

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 社会人

科目名 考古学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

Question 1

考古学において個々の埋葬からどのようにして社会的地位が明らかにできるのかを問う問題。

- (1) The grave goods do not always reflect the social status or material goods owned by the deceased during the lifetime. They also reflect the wealth of the people who prepared for the burial. It must be careful in evaluating artifacts from burial in order to understand the social rank of the deceased.
- (2) There was more or less a relationship between the role and rank of the deceased during life and the manner in which the remains are disposed of and accompanied by artifacts. The analysis will seek to determine differences between male and female burials, and to assess whether these differences carry with them distinctions in terms of wealth or higher status. The other common factor involved with rank or status is age, and age difference may be systematically reflected in the treatment of the deceased. One can seek some better indication of wealth and status so that greater weight can be given to valuable objects, and less weight to commonplace ones. It can be assumed that valuable objects were those that took a long time to make or were made of materials brought from a distance or difficult to obtain. For example, highly differentiated Naqada II graves at cemeteries in Upper Egypt, but not in Lower Egypt, probably symbolize an increasingly hierarchical society. Competition and the aggrandizement of rulers is represented by high-status burials, such as Cemetery T at Naqada, whose graves were even larger, contained more grave goods and had larger, internally divided rooms. Unequal distribution of wealth is also often an indicator of social inequality. In the Phraonic period, the difference of the components of the burial assemblage between the royal tombs and private tombs are immense. Not only the number and quality of the artifacts, but also the size of the tombs between the royal tombs and private tombs are enormous, e.g. between Pyramids and mastaba tombs.

Question 2 エジプト学における材料と技術についての研究動向の理解を問う問題。

- (1) 従来のエジプト学では、古代エジプトにおける材料、技術、物質文化については豊富な文字史料と図像資料を元に研究されてきた。そして、考古資料は文字史料や図像資料から得られる情報の物的証拠として扱われていた。しかし、それらをより包括的な理解するためには、適切な状況における民族誌的類推による知識に基づいた考古科学や実験考古学による遺物の研究が必要であり、場合によっては文字史料や図像資料の情報を援用する。また近年では、原材料をその自然の状態から加工された状態へ変換する一連の動作であるシェーン・オペラトワールの研究も増加している。このような研究動向について自らの言葉で解説できるかを評価する。
- (2) 過去のエジプト学においては、過去の他の地域の歴史考古学がそうであったように、考古学は文献学の補助学としての位置付けであった。つまり、豊富な文字史料と図像資料を中心に古代エジプトの文化が解釈されてきたが、それらはエリートを中心とした上位文化の一側面を示すかあるべき理想を示したものにすぎないのである。古代エジプト社会全体を捉えるにはあらゆる階層の文化の痕跡を示す考古資料の研究結果を重視し、総合的に考察されなければならない。たとえば、埋葬習慣や宗教祭祀についての研究において同様なことが指摘できる。本問では、そのような内容について記述できているかを評価する。

Question 3 考古学の用語の理解を問う問題。

1. Stratigraphy: The study and validation of stratification; the analysis in the vertical, time dimension, of a series of layers in the horizontal space dimension. It is often used as a relative dating technique to assess the temporal sequence of artifact deposition.
2. Archaeological Reconnaissance (or Surface Survey): Two basic kinds can be identified: (1) unsystematic and (2) systematic. The former involves field-walking, scanning the ground along one's path and recording the location of artifacts and surface features. Systematic survey by comparison is less subjective and involves a grid system, such that the survey area is divided into sectors and these are walked systematically, thus making the recording of finds more accurate.
3. Typology in Archaeology: Typology in archeology is the result of classifying things based on their physical characteristics. The result of classification, or class, is also called type. Most archaeological typologies organize portable artifacts by type, but typologies of larger structures such as buildings, open-air monuments, fortifications, roads, etc. are possible as well. Typology helps manage large amounts of archaeological data.
4. Tell el-Amarna: an extensive Egyptian archaeological site containing the remains of what was the capital city of the late Eighteenth Dynasty. The city was established in ca. 1346 BC, built at the direction of the King Akhenaten, and abandoned shortly after his death in 1332 BC. The name that the ancient Egyptians used for the city is



transliterated as Akhetaten, meaning "the horizon of the Aten. It consists of a number of palace and temple complexes as well as the residential areas, which provide invaluable information about the life and society of New Kingdom Egypt.

5. Characterization (Sourcing): The application of techniques of examination by which characteristic properties of the constituent material of traded good can be identified, and thus their sources of origin.
6. Shabti figure: Ancient Egyptian funerary figure which symbolizes the workers in the field in the afterlife. It is represented as mummy form, sometimes bearing hieroglyphic inscriptions with the name of the deceased and the religious formula.
7. Cultural Resource Management (CRM): Cultural Resource Management (CRM) involves the identification, assessment, preservation, and management of cultural or archaeological resources, which include historic sites, buildings, structures, landscapes, and artifacts. This is done through surveys and studies of potential sites, excavations, and the creation of management plans and guidelines for their protection.
8. Assemblage in Archaeology: In archaeology, an assemblage refers to a group of artifacts that are related in some way, often found together in the same context, and therefore can be presumed to be associated with particular people, activities, or periods of time. These artifact collections offer essential data for understanding cultural behavior throughout history, making them critical in the field of archaeology.

#### Question 4 エジプト考古学の主要遺跡に関する知識を問う問題

This archaeological site is called Deir el-Barhi. It is a complex of mortuary temples and tombs located on the west bank of the Nile. It is separated from the Valley of the Kings by the peak of el-Qurn and lies directly across the water from the temple complexes at Karnak and Luxor in Thebes. The site was traditionally connected with the goddess Hathor. The site includes three mortuary temples of Middle and New Kingdom and several royal and non-royal tombs. The main temples include mortuary temples Mentuhotep II and Hatshepsut, and the temple of Amun by Thutmose III. In the mortuary temple of Mentuhotep II there were six tombs with shrines for royal ladies with finely carved sarcophagi with scenes of daily life and the presentation of offerings. Many of Mentuhotep's officials were buried in tombs excavated from the cliffs around his mortuary temple. The mortuary temple of Hatshepsut is the best preserved of the three, the largest and more impressive at the site. Her temple is clearly inspired by that of Mentuhotep II and was built so that the colonnades at each side of the central ramp correspond with two levels of his mortuary temple. Hatshepsut's mortuary temple shows signs of adaptation during the Ptolemaic period.

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 4枚のうち 1枚目)

専攻名 Division	人文学 Humanities	選抜区分 Selection	外国人 International Students
試験科目 Special Subjects	考古学 Archaeology		

Question 1. Please read the following text and answer the questions.

(出典 Colin Renfrew and Baul Bahn, *Archaeology: Theories, Methods and Practice*, Seventh Edition. London: Thames & Hudson, 2016, p. 199, l. 33-57.)

- (1) Please explain the meaning of the underlined sentence.
- (2) How do we understand the social ranking from individual burials? Please explain your thoughts by referring example(s).

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 4枚のうち 2枚目)

専攻名 Division	人文学 Humanities	選抜区分 Selection	外国人 International Students
試験科目 Special Subjects	考古学 Archaeology		

Question 2. Please read the following text and answer the questions.

\*Please disregard the note numbers 53, 54 and 55 in the text.

(出典 Paul Nicholson, "Studying Materials and Technology: An Introduction," In Ian Shaw and Elizabeth Bloxam (eds.), *The Oxford Handbook of Egyptology*. Oxford: Oxford University Press, 2020, pp. 277, l. 30-278, l.30.)

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 4枚のうち 3枚目)

専攻名 Division	人文学 Humanities	選抜区分 Selection	外国人 International Students
試験科目 Special Subjects	考古学 Archaeology		

- (1) Please evaluate the arguments in the text.
- (2) Similar arguments can be made for other subjects in Egyptian Archaeology. Please write an essay to evaluate the current situation of the subject(s).

Question 3. Please chose and explain four key words among the followings.

1. Stratigraphy
2. Archaeological Reconnaissance (or Surface Survey)
3. Typology in Archaeology
4. Tell el-Amarna
5. Characterization (Sourcing)
6. Shabti figure
7. Cultural Resource Management (CRM)
8. Assemblage in Archaeology

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 4枚のうち 4枚目)

専攻名 Division	人文学 Humanities	選抜区分 Selection	外国人 International Students
試験科目 Special Subjects	考古学 Archaeology		

Question 4. Please write a short essay explaining and discussing archaeological features in this area shown in the photo.

出典

[https://en.wikipedia.org/wiki/Deir\\_el-Bahari#/media/File:Tempel\\_der\\_Hatschepsut\\_\(Deir\\_el-Bahari\).jpg](https://en.wikipedia.org/wiki/Deir_el-Bahari#/media/File:Tempel_der_Hatschepsut_(Deir_el-Bahari).jpg)

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 外国人

科目名 考古学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

Question 1

考古学において個々の埋葬からどのようにして社会的地位が明らかにできるのかを問う問題。

- (1) The grave goods do not always reflect the social status or material goods owned by the deceased during the lifetime. They also reflect the wealth of the people who prepared for the burial. It must be careful in evaluating artifacts from burial in order to understand the social rank of the deceased.
- (2) There was more or less a relationship between the role and rank of the deceased during life and the manner in which the remains are disposed of and accompanied by artifacts. The analysis will seek to determine differences between male and female burials, and to assess whether these differences carry with them distinctions in terms of wealth or higher status. The other common factor involved with rank or status is age, and age difference may be systematically reflected in the treatment of the deceased. One can seek some better indication of wealth and status so that greater weight can be given to valuable objects, and less weight to commonplace ones. It can be assumed that valuable objects were those that took a long time to make or were made of materials brought from a distance or difficult to obtain. For example, highly differentiated Naqada II graves at cemeteries in Upper Egypt, but not in Lower Egypt, probably symbolize an increasingly hierarchical society. Competition and the aggrandizement of rulers is represented by high-status burials, such as Cemetery T at Naqada, whose graves were even larger, contained more grave goods and had larger, internally divided rooms. Unequal distribution of wealth is also often an indicator of social inequality. In the Phraonic period, the difference of the components of the burial assemblage between the royal tombs and private tombs are immense. Not only the number and quality of the artifacts, but also the size of the tombs between the royal tombs and private tombs are enormous, e.g. between Pyramids and mastaba tombs.

Question 2 エジプト学における材料と技術についての研究動向の理解を問う問題。

- (1) 従来のエジプト学では、古代エジプトにおける材料、技術、物質文化については豊富な文字史料と図像資料を元に研究されてきた。そして、考古資料は文字史料や図像資料から得られる情報の物的証拠として扱われていた。しかし、それらをより包括的な理解するためには、適切な状況における民族誌的類推による知識に基づいた考古科学や実験考古学による遺物の研究が必要であり、場合によっては文字史料や図像資料の情報を援用する。また近年では、原材料をその自然の状態から加工された状態へ変換する一連の動作であるシェーン・オペラトワールの研究も増加している。このような研究動向について自らの言葉で解説できるかを評価する。
- (2) 過去のエジプト学においては、過去の他の地域の歴史考古学がそうであったように、考古学は文献学の補助学としての位置付けであった。つまり、豊富な文字史料と図像資料を中心に古代エジプトの文化が解釈されてきたが、それらはエリートを中心とした上位文化の一側面を示しかあるべき理想を示したものにすぎないのである。古代エジプト社会全体を捉えるにはあらゆる階層の文化の痕跡を示す考古資料の研究成果を重視し、総合的に考察されなければならない。たとえば、埋葬習慣や宗教祭祀についての研究において同様なことが指摘できる。本問では、そのような内容について記述できているかを評価する。

Question 3 考古学の用語の理解を問う問題。

1. Stratigraphy: The study and validation of stratification; the analysis in the vertical, time dimension, of a series of layers in the horizontal space dimension. It is often used as a relative dating technique to assess the temporal sequence of artifact deposition.
2. Archaeological Reconnaissance (or Surface Survey): Two basic kinds can be identified: (1) unsystematic and (2) systematic. The former involves field-walking, scanning the ground along one's path and recording the location of artifacts and surface features. Systematic survey by comparison is less subjective and involves a grid system, such that the survey area is divided into sectors and these are walked systematically, thus making the recording of finds more accurate.
3. Typology in Archaeology: Typology in archeology is the result of classifying things based on their physical characteristics. The result of classification, or class, is also called type. Most archaeological typologies organize portable artifacts by type, but typologies of larger structures such as buildings, open-air monuments, fortifications, roads, etc. are possible as well. Typology helps manage large amounts of archaeological data.
4. Tell el-Amarna: an extensive Egyptian archaeological site containing the remains of what was the capital city of the late Eighteenth Dynasty. The city was established in ca. 1346 BC, built at the direction of the King Akhenaten, and abandoned shortly after his death in 1332 BC. The name that the ancient Egyptians used for the city is

transliterated as Akhetaten, meaning "the horizon of the Aten. It consists of a number of palace and temple complexes as well as the residential areas, which provide invaluable information about the life and society of New Kingdom Egypt.

5. Characterization (Sourcing): The application of techniques of examination by which characteristic properties of the constituent material of traded good can be identified, and thus their sources of origin.
6. Shabti figure: Ancient Egyptian funerary figure which symbolizes the workers in the field in the afterlife. It is represented as mummy form, sometimes bearing hieroglyphic inscriptions with the name of the deceased and the religious formula.
7. Cultural Resource Management (CRM): Cultural Resource Management (CRM) involves the identification, assessment, preservation, and management of cultural or archaeological resources, which include historic sites, buildings, structures, landscapes, and artifacts. This is done through surveys and studies of potential sites, excavations, and the creation of management plans and guidelines for their protection.
8. Assemblage in Archaeology: In archaeology, an assemblage refers to a group of artifacts that are related in some way, often found together in the same context, and therefore can be presumed to be associated with particular people, activities, or periods of time. These artifact collections offer essential data for understanding cultural behavior throughout history, making them critical in the field of archaeology.

#### Question 4 エジプト考古学の主要遺跡に関する知識を問う問題

This archaeological site is called Deir el-Barhi. It is a complex of mortuary temples and tombs located on the west bank of the Nile. It is separated from the Valley of the Kings by the peak of el-Qurn and lies directly across the water from the temple complexes at Karnak and Luxor in Thebes. The site was traditionally connected with the goddess Hathor. The site includes three mortuary temples of Middle and New Kingdom and several royal and non-royal tombs. The main temples include mortuary temples Mentuhotep II and Hatshepsut, and the temple of Amun by Thutmose III. In the mortuary temple of Mentuhotep II there were six tombs with shrines for royal ladies with finely carved sarcophagi with scenes of daily life and the presentation of offerings. Many of Mentuhotep's officials were buried in tombs excavated from the cliffs around his mortuary temple. The mortuary temple of Hatshepsut is the best preserved of the three, the largest and more impressive at the site. Her temple is clearly inspired by that of Mentuhotep II and was built so that the colonnades at each side of the central ramp correspond with two levels of his mortuary temple. Hatshepsut's mortuary temple shows signs of adaptation during the Ptolemaic period.



2024年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科 (博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(2枚のうち1枚目)

専攻名【人文学専攻】選抜区分【一般】

試験科目【日本古典文学 (専門深化型プログラム日本語学日本文学)】

次の文を読んで後の問題に答えなさい。

（2枚のうち2枚目）

（『撰集抄』による）

注1 此聖人……天台僧の性空（九一〇～一〇〇七）のこと。

注2 室（むろ）……地名。今の兵庫県御津町室津。

注3 拾遺抄……藤原公任撰の歌集。

問題一 段落②について、ルビも含めて全文を翻刻しなさい。行取りはそのまま、文中の句点（。）に依らず、適宜句読点を用いること。

問題二 段落③④について、適宜言葉を補いながら全文を現代語訳しなさい。

問題三 段落⑤の「悟の前には、風の声、波の音、みな妙なる御法に侍るなる事、此遊女の歌の法文なるにて、ひしとげに思ひさだめて侍り」の一文から読みとれる文学と芸能の関わりについて、具体的な文学作品や経典等を挙げながら論じなさい。

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学専攻 選抜区分 一般

科目名 日本古典文学（専門深化型プログラム日本語学日本文学）

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は，その旨を記載願います。】

問題一 研究のために必要なくずし字読解能力を有している。／研究のために必要なくずし字読解能力を有していない。

問題二 古典読解のために必要な文法や知識を有している。／古典読解のために必要な文法や知識を有していない。

問題三 古典作品の背景にある文化、宗教について理解している。／古典作品の背景にある文化、宗教について理解していない。

2024年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科 (博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(一枚のうち一枚目)

専攻名【人文学専攻 専門深化型】選抜区分【外国人】

試験科目【日本語学日本文学 (日本近代文学)】

問題一 次の事柄から三つ選び、具体例を挙げながら論述しなさい。

マイノリティと日本近代文学

戦争と日本近代文学

「外国人」と日本近代文学

日本近代文学におけるセクシュアリティ

日本近代文学における排外主義

日本近代文学における「家」もしくは「家族」

問題二 次の語句から三つ選び、解説しなさい。

言文一致体 明治翻訳文学 無意志的記憶

三派鼎立 第三の新人 内向の世代

「文芸戦線」 『小説の方法』 詩誌「権」

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学専攻 選抜区分 外国人特別選抜

科目名 日本語学日本文学（日本近代文学）

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題一

日本近代文学におけるアクチュアルな諸問題について、歴史的な背景についての知識・理解に基づいて分析し解説できているかを問う。

問題二

日本近代文学史における文体、文学運動、時代を画する代表的な作品等について同時代の文脈を踏まえて理解し説明できるかを問う。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(7枚のうち1枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般 外国人・社会人
試験科目	専門科目(専門深化型プログラム・英語学英米文学)		

次のⅠ、Ⅱ、Ⅲについて解答しなさい。

Ⅰ. 以下の a、b の英文を日本語に訳しなさい。

a.

Bridges, William, *Transitions: Making Sense of Life's Changes*, 2nd ed.,  
Cambridge, MA: Da Capo Press, 2004, p. 32, ll. 5-22.

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(7枚のうち2枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	専門科目(専門深化型プログラム・英語学英米文学)		

b.

Trilling, Lionel, "The Meaning of a Literary Idea," in *The Liberal Imagination: Essays on Literature and Society*, New York: New York Review of Books, 1950 (rpt. 2008), p. 282, ll. 10-24.

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(7枚のうち3枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般 外国人・社会人
試験科目	専門科目(専門深化型プログラム・英語学英米文学)		

Ⅱ. 以下の文章を読んで、枠内を英語で表現しなさい。

小松和彦・関一敏 編『新しい民俗学へ—野の学問のためのレッスン 26』、東京：  
せりか書房、2002年、41頁2行目-19行目。



2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(7枚のうち4枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	専門科目(専門深化型プログラム・英語学英米文学)		

Ⅲ. 選択問題

※ 本来<英語学>と<英米文学>の2つの分野から1つを選択して答える問題であるが、英米文学の出願者がいないため、英語学のみ出題する。

<英語学>

(1) 次の用語のうち、3項目についてあなたの知るところを書きなさい。

- (a) reference point / target      (b) double object construction  
(c) register      (d) trajector / landmark      (e) affricate  
(f) Great Vowel Shift      (g) Sapir-Whorf hypothesis

(2) 次の英文を読んで、その内容を、日本語で解答用紙1枚以内にまとめなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(7枚のうち5枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	<input checked="" type="radio"/> 一般	<input type="radio"/> 外国人・社会人
試験科目	専門科目(専門深化型プログラム・英語学英米文学)			

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(7枚のうち6枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	専門科目(専門深化型プログラム・英語学英米文学)		

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(7枚のうち7枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	専門科目(専門深化型プログラム・英語学英米文学)		

Dancygier, Barbara (ed.), *The Cambridge Handbook of Cognitive Linguistics*,  
Cambridge: Cambridge University Press, 2017, p.387, 1.26–p.389, 1.40.

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学専攻 選抜区分 一般

科目名 専門科目（英語学英米文学）

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

出題意図：

大問Ⅰ (a)(b)

本専攻で学ぶ上で必要となる基本的な英文読解力を備え、正確な解釈ができているかを問うことに加え、それを日本語で表現できるかを見る。

大問Ⅱ

本専攻で学ぶ上で必要となる基本的な英語表現力を備えているかを見る。

大問Ⅲ（選択問題：今回は英語学のみ）

問(1) 英語学分野の基本的な概念についての知識と理解度を問う。

問(2) 英語学分野の英語で書かれたテキストの一部を読み、内容を正確に読み取り、まとめることができるかを見る。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 4 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	言語学		

\* 答えはすべて日本語で作成すること。

問題 1 以下の文章を読んで、(1)(2)(3)の問いに答えなさい。

(『超基礎・第二言語習得研究』, 奥野由紀子(編著), くろしお出版, 2021 年, p. 27, ll. 4-27 \*問題作成の都合で一部改変した)

- (1) 本文中( A )および( B )にふさわしい動物の名前を答えなさい。
- (2) 本文中( C )にふさわしい研究者の名前を答えなさい。さらに、その研究者の研究内容、主要な貢献について知っていることを述べなさい。
- (3) 本文中( D )にふさわしい研究者の名前を答えなさい。さらに、その研究者の研究内容、主要な貢献について知っていることを述べなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 4 枚のうち 2 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	言語学		

問題 2 以下の文章は言語学の入門書に含まれる第二言語習得に関する説明の箇所を抜粋したものである。この文章を読んで、(1)(2)(3)の問いに答えなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 4 枚のうち 3 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・ <u>外国人</u> ・社会人
試験科目	言語学		

("Language Files 11: Materials for an Introduction to Language and Linguistics",  
Mihalicek, V. and C. Wilson (Eds.), The Ohio State University Press, 2011 年, pp. 343  
(l. 37)-344 (l. 46) \*問題作成の都合で一部改変した)

- (1) 下線部 A の用語を説明しなさい。
- (2) 破線で囲まれた部分で述べられている negative transfer の内容を本文に即して説明しなさい。
- (3) 下線部 B の working memory は第二言語習得にどのような影響を与えうのか答えなさい。すでに存在する研究の概要を述べるのでも構わないし、working memory と第二言語習得の関係についての自分の仮説を述べるのでも構わない。



2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 4 枚のうち 4 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	言語学		

問題3 次の(1)から(8)の項目から5つを選んで、説明しなさい。解答の順番は問わな  
いが、どの項目に対する説明であるかがはっきり分かるようにすること。

- (1) embedded clause
- (2) implicature
- (3) aspiration
- (4) tone language
- (5) event-related brain potential
- (6) semantic priming
- (7) allophone
- (8) interlanguage

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学専攻 選抜区分 外国人

科目名 言語学

解答例又は出題意図

問題 1

(1) 【解答例】

- (A) サル、ベルベットモンキーなど
- (B) ジュウシマツ、シジュウカラなど

(2) 【解答例】 ノーム・チョムスキー (Noam Chomsky)

【出題意図】 生成文法理論、言語生得装置、普遍文法といった概念に言及できているか。

(3) 【解答例】 マイケル・トマセロ (Michael Tomasello)

【出題意図】 用法基盤モデル、パターン発見、他者の意図読みといった概念に言及できているか。

問題 2

(1) 【出題意図】

言語の転移について次のような項目に言及しながら説明ができているか。

- ・ L1 の知識が L2 の知識の習得や運用に影響を与えること。
- ・ L1 の知識が L2 にマイナスに影響する負の転移、プラスに影響する正の転移があること。

(2) 【出題意図】

下記の観点からの評価を行う。

- ・ (1) で尋ねた transfer のうち、negative transfer について具体的な事例を読み取って説明できているか。
- ・ 文中に出てくる言語学の専門用語が日本語で何と呼ばれ、どのような概念を説明するための用語か理解できているか。

(3) 【出題意図】

下記のような観点からの評価を行う。

- ・ working memory (作業記憶) という概念に対する知識を持っているか。
  - ✓ 概念そのものに対する知識。
  - ✓ 認知科学でひろく受け入れられているような記憶のメカニズムの体系の中での作業記憶の位置づけを理解しているか。
- ・ 「言語 (言語獲得、第二言語習得)」と「それ以外の認知システム」との関わり合いに関する知識を持っているか。
- ・ 論文等ですでに学んだことがある知識の場合、それを適切に述べることができるか。

問題 3

【出題意図】

大学院博士前期課程での学習・研究がスムーズに開始できる程度の基礎的な知識を持っているか、そしてそれを適切な分量で簡潔に説明できる力を持っているかを確認するための問題である。

2024年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科 (博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 2枚のうち 1枚目)

専攻名【 人文学 】 選抜区分【 一般 】  
試験科目【 比較文化学 】

問題一 以下の文章を参考にして、日本民俗学における死のとらえ方について、具体的な事例をあげながら、その特色を述べなさい。

(富田登『神の民俗誌』岩波書店、1979年、p.74, l.2-p.75, l.9)

2024年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

第2期募集 入学試験問題

（ 2枚のうち 2枚目）

専攻名【 人文学 】 選抜区分【 一般 】  
試験科目【 比較文化学 】

問題二 日本文化を比較文化学の視点から研究する場合の利点と問題点を、具体的な事例をあげながら述べなさい。

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般

科目名 比較文化学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

(出題意図)

問題 1

日本民俗学の基本図書から、死の穢れをみつかった文章を読み、歴史学一般で説かれている死の穢れや禁忌意識が必ずしも民衆レベルでは浸透していなかったことを手がかりに、民俗学における具体的な死のあり方を述べさせる。比較文化学における重要な研究テーマのひとつである死の文化から、比較文化学の知識と方法論が修得されているかを確認する。

問題 2

日本文化研究における比較文化的アプローチの意義と問題点を述べることで、学士課程レベルでの比較文化学の手法が正しく修得されているかを確認する。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 9 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	<input type="checkbox"/> 一般・ <input type="checkbox"/> 外国人・ <input type="checkbox"/> 社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

問題1～6について指示に従って解答してください。なお、解答用紙には問題の順番に、どの問に対する解答かわかるように記述してください。

問題1 以下の英文を訳せ。

(出典: Eaton, C., Tarver, J., Shirazi, E., Pearson, L., Walker, L., Bird, M., Oliver, C., & Waite, J. (2021). A systematic review of the behaviour associated with depression in people with severe-profound intellectual disability. *Journal of Intellectual Disability Research*, 65, 211-229. 211 ページ、2 から 32 行目まで)

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 9 枚のうち 2 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	<input type="checkbox"/> 一般・ <input type="checkbox"/> 外国人・ <input type="checkbox"/> 社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

問題2 以下の(1)～(3)は恐怖条件づけに対する消去に関するある研究論文の抜粋である。これらを読み、問 1～3 に答えよ。(文中の括弧内の数字は問題と関係しないため無視すること)

(1)

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 9 枚のうち 3 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

(2)



2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 9 枚のうち 4 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	<input type="checkbox"/> 一般・ <input type="checkbox"/> 外国人・ <input type="checkbox"/> 社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

(3)

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 9 枚のうち 5 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

(注) (3)の B の図は縦軸に skin conductance response (SCR; 自律神経系の一部である交感神経の活動によって引き起こされる、皮膚表面の電気伝導度の変化を指す。感情やストレス反応などの生理学的な興奮や活動性を評価する生理指標である) について CS+と CS-の提示の際に測定した値の差分を示している。この差分の値は CS+に対する CR の程度を表す。横軸のラベルは(3) の A と対応しており、Late Acquisition は Threat conditioning、Late extinction は Extinction、Early recovery は Recovery である。

問1 従来の extinction (消去) 手続きの問題点について (1) で指摘されていることは何か？

問2 (2) では研究目的として、より効果的な恐怖条件づけの消去のために新たな手続きを加える意図と方法が説明されている。その具体的な意図と方法とは何か？

問3 (3) は通常の消去を行なった SANDARD EXTINCTION 条件と NOVELTY FACILATED EXTINCTION (NFE)条件を群間で実施した際の実験手続きとその結果の一部を示した図とその説明である (Figure2)。NFE は消去手続きの際に、CS+に対して US の代わりに中性的な意味を持つ音刺激を提示する手続きを意味している。(3) から読み取れる SANDARD EXTINCTION 条件と NOVELTY FACILATED EXTINCTION (NFE)条件の結果の違いは何か？研究の趣旨と関連づけて説明すること ((3) の C は問に関連しないため無視してよい)。

(出典:Dunsmoor, J. E., Campese, V. D., Ceceli, A. O., LeDoux, J. E., & Phelps, E. A. (2015). Novelty-facilitated extinction: providing a novel outcome in place of an expected threat diminishes recovery of defensive responses. *Biological psychiatry*, 78 (3), 203-209. (1)203 ページ 21 から 204 ページ 17 行目まで、(2)204 ページ 18 から 32 行目まで、(3)205 ページ Figure2 図および説明 問題作成のため一部を改変した)

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第2期募集 入学試験問題

( 9 枚のうち 6 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

問題3 (1)～(5)の中に入る適切な語句を答えよ。

- 不安症の患者には、不安場面において破局的結果を回避するために  が見られることが多く、これは認知行動療法の効果を妨害する要因になると考えられている。
- うつ病の主症状である意欲・関心の低下は  と呼ばれる快感情の感受性低下と関連づけられている。
- ウェクスラー知能検査で FSIQ が 82 である場合、記述分類は  である。
- 24 の絵場面により構成され、登場人物の吹き出しに反応を書き込むことによって、欲求不満に対する反応を測定する準投影法の心理検査を  と呼ぶ。
- もともと内発的動機づけが高いものに対して、外発的な報酬を与えることによって、その内発的動機づけが低下する現象を  と呼ぶ。

## 2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

## 第2期募集 入学試験問題

( 9 枚のうち 7 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

問題4 以下の文章内の空欄(1)～(15)に適切な語句を回答しなさい。

行動療法と認知療法の技法の集合体として展開される心理療法を認知行動療法という。行動療法は20世紀初頭に始まった( 1 )心理学に基づいて発展した心理療法である。スキナーは人の自発的行動が環境からの刺激と結果の( 2 )によって決定されると考え、「オペラント条件づけ」と名付けた。オペラント条件づけは応用行動分析の基礎となる過程であり、先行事象—行動—結果事象のパターンは強化子あるいは( 3 )の出現や消失によって分類される。そして、適切な行動の出現を手助けするプロンプトや新しい行動を段階的に形成するために( 4 )が用いられる。結果事象の操作には不適切な行動の( 5 )と適切な行動の強化を同時に行う( 6 )が用いられる。また、行動療法には( 7 )によって見出されたレスポナント条件づけを応用した技法も含まれる。ウォルピが考案した系統的脱感作は、( 8 )というレスポナント条件づけの現象に基づいた技法であり、非適応的な行動や情動などの条件反応を引き起こす条件刺激に、条件反応と拮抗するリラクセーション反応を対にすることで条件反応を抑制する技法である。

一方で、認知療法は20世紀半ばに精神科医である( 9 )によって発展した心理療法である。認知療法では人の気分や行動が自己の認知プロセスに大きく影響されるという( 10 )モデルに基づいており、元々はうつ病に対する心理的支援として用いられてきた。感情的問題の背景にある非機能的認知は自動思考、( 11 )、スキーマという三つの層をもつとされている。特にうつ病の場合には自己、世界、( 12 )への否定的な認知の特徴が見られる。認知療法では認知モデルに基づいて思考、行動、感情などの関連を明らかにする( 13 )を行う。そして、中心の問題となる認知の特徴を明らかにし、その根拠や反証を検討しながら適応的思考を作り上げる( 14 )などの技法を導入する。しかし、認知療法でも行動に対する介入が行われる。例えば( 15 )では非機能的認知が活性すると予想される現実の場面に挑戦し、その予想した非機能的認知の妥当性を検証することで変容を狙う技法である。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

( 9 枚のうち 8 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

問題5 以下の事例を読んで、質問に答えなさい。

5年生(11歳)の女兒Aの母親が大学院附属の心理相談室に来所し、インテーク面接を受けた。母親とのインテーク面接で、以下の情報を得た。

- 現在、Aは週に2-3日しか登校できていない。登校しても所属学級には参加できず、別室でサポートを受けながら勉強をしている。
- 5年生に進級した4月当初、Aには不登校傾向は認められなかったが、6月ごろから「学校に行きたくない」、「授業がつまらない」と言い始めるようになった。
- Aには何人かの仲の良い友達がいたが、最近、自宅でその友達の話をしなくなったので、母親は心配している。Aにその理由を聞いても、話してくれない。

インテーク面接後、当ケースの公認心理師はAに対して心理検査の実施の必要性を感じ、インテーク面接の翌週にWISC-IVを実施することを決めた。実施当時、WISC-IVの検査に先立ち、担当心理師は検査に関するインフォームド・コンセントを行った。

問1 Aおよび母親に行うべきインフォームド・コンセントの内容を示しなさい。

問2 AにWISC-IVを実施したところ、以下の結果を得た。

- 合成指標：FSIQ(全IQ) = 85, VCI(言語理解指標) = 75, PRI(知覚推理指標) = 85, WMI(ワーキングメモリー指標) = 102, PSI(処理速度指標) = 95, GAI(一般知的能力指標) = 82, CPI(認知的熟達指標) = 98
- ディスクレパンシー比較：CPI > GAI, WMI > VCI, WMI > PRI, PSI > VCI, PSI > PRI

上記のWISC-IVの結果から、インテーク面接で得られたAの心理社会的問題の背景にはどのようなAの認知的特徴があるか。また、Aの認知的特徴を踏まえて、学校場面でAにはどのような合理的配慮が必要であるか。あなたの考えを述べなさい。

問3 Aの心理社会的問題の背景をさらに理解するためには、どのような心理検査を行うべきか。具体的な心理検査を挙げ、その検査を行うべきと考える理由を述べなさい。

## 2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

## 第2期募集 入学試験問題

( 9 枚のうち 9 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

問題6 以下の研究計画を読み、質問に答えなさい。

事件、事故などの目撃者となった場合に、その目撃した出来事の内容についての証言を求められることがある。一方、事件や事故などの情動的な出来事の内容を思い出すことによって、目撃当時の情動を再体験し、それが目撃者にとっては心理的な負荷となる可能性が考えられる。本研究では、目撃記憶をより効果的に思い出し、目撃者の心理的な負担を軽減するための、簡易的なリラクセーションプログラムの開発を行った。

参加者に、高いネガティブ情動を喚起する 1 分程度の自動車事故の映像を提示し、その直後に、プログラム A、もしくは、プログラム B の異なる 2 種類のリラクセーションプログラムを実施した。その後、目撃した映像に関わる記憶テストを実施し、2 種類のリラクセーションプログラムが目撃記憶の想起に及ぼす影響について検討を行った。加えて、この 2 種類のリラクセーションプログラムが、最初の映像提示によって喚起されたネガティブ情動をどの程度低下させることが可能を調べた。記憶テストを実施した後に、参加者の感情の状態を測定した。参加者は大学生 60 名であり、ランダムにリラクセーションプログラム A、または、B に割り当てた。

なお、本研究は目撃記憶についての研究であることから、提示する映像については偶発学習とし、参加者には実験の事前説明の段階では、映像を見てリラクセーションプログラムを体験するという内容の研究であるといった説明を行い、提示する映像の特性や内容については詳しい説明は行わなかった。

問 1 本研究には、研究倫理上の問題があります。その問題点を指摘し、改善方法を書きなさい。

問 2 2 種類のリラクセーションプログラムが目撃記憶の想起に及ぼす影響について検討することが目的でした。また、これらのプログラムが、映像によって喚起された参加者のネガティブな感情の状態を軽減する効果についても検討することを目的としていました。しかし、本研究には、いくつかの実験手続き上の問題があります。その問題点について指摘し、改善方法を答えなさい。

問 3 本研究の結果を分析する際に適した分析方法について、それぞれの従属変数ごとに書きなさい。

## 出題意図および解答例

### 問題 1

公認心理師の業務の向上には精神疾患や知的障害に関する研究知見を理解する能力も必要である。ここでは英語の研究論文の概要を把握する能力を問う。

### 問題 2

#### 問 1

恐怖条件づけの消去手続き後でも CS に対する CR を完全に防ぐことができないこと、そして消去手続きでは CS が US の予測を曖昧にするため US に対する過敏性を促す可能性があることを指摘する必要がある。

#### 問 2

自発的回復をより減衰するため、消去手続きに際して CS に対し US の代わりに感情的に中性の意味を持つ刺激を対提示することで CS による予測と結果の違いを明瞭にし、CS の曖昧さを解決することを示す必要がある。

#### 問 3

NFE 条件において Recovery 手続き中の CS+ に対する CR は有意でなく STANDART EXTINCTION 条件では有意であったことから、消去中に中性刺激を CS+ に対提示することによって CS+ が US の到来を予期しない刺激であることが明確になり、消去が促進されたとみなされることを説明する必要がある。

### 問題 3

- (1) 安全確保行動
- (2) アンヘドニア
- (3) 平均の下
- (4) P-F スタディ
- (5) 過正当化効果もしくはアンダーマイニング効果

### 問題 4

- (1) 学習
- (2) 随伴性
- (3) 弱化子 (嫌子、罰子)
- (4) シェイピング
- (5) 消去
- (6) 分化強化
- (7) ウォルピ
- (8) 逆制止

- (9) ベック
- (10) 認知 (抑うつスキーマ)
- (11) 推論の誤り (媒介信念)
- (12) 未来 (将来)
- (13) ケースフォーミュレーション
- (14) 認知再構成
- (15) 行動実験

#### 問題5

問1～2共通して、インフォームド・コンセントの提供、心理検査の実施およびその解釈は公認心理師の主要な業務である。知能検査は最も利用頻度が高い心理検査の一つであり、WISC-IVをはじめとするウェクスラー知能検査は主要な知能検査である。これらの事実を踏まえ、本問題は公認心理師養成を行う本プログラムの入試問題として適切であると考え出題した。

#### 問題6

##### 問1

研究倫理上の問題として、自動車事故の映像を視聴することについて事前の説明がないなどの研究参加者に対する配慮やケアが欠けている点を挙げる

##### 問2

実験手続き上の問題について、実験条件のランダム割り当ての方法が不透明であることなどを挙げる

##### 問3

独立変数と従属変数の定義が明確に記述されており、独立変数間の関係性を検討する上で適切な分析デザインを示せる